



取扱説明書

NX505

**ワイド7型VGA 地上デジタルTV/DVD
AVライトナビゲーション**

このたびはクラリオン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に
必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い上げの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、
後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い上げいただきありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護の為、本機に保存されたすべてのデータの消去(初期化)を行ってください。

本書に記載されているマークの意味

MEMO

お願い

- よく使う用語やわかりにくい用語の意味を説明しています。
- 操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。
- 本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

ナビゲーションシステムについて

GPSナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS(Global Positioning System: 全地球測位システム)によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内(ルート誘導)をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し(国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算)、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため(変更の場合を含めて)、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があります。

その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしがっていただきますようお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

● 取扱説明書: 本書

- 主にオーディオ/ビジュアルの操作について説明しています。

● ナビゲーション操作ガイド

- ナビゲーション操作について説明しています。

● 本機取付説明書

- お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。

● TVアンテナ取付説明書

- お買い求め後、TVアンテナを車に取り付ける方がお読みください。

※ 本機に接続される機器(ユニット)ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

- 取扱説明書は、弊社Webサイトからもご覧いただけます。
<http://www.clarion.com/>
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに	5
安全にお使いいただくために	5
安全上のご注意 必ずお守りください	5
使用上のご注意	6
安全運転への配慮	6
保証についてのご注意(免責事項について)	6
ナビゲーションについて	6
mini B-CASカードについて	7
地図専用microSDカードについて	7
操作(液晶)パネルについて	7
ディスクの取扱い	7
USBメモリーについて	8
Bluetooth機器について	8
お手入れについて	8
本機でご使用できるメディアについて	9
本機で再生できるオーディオ・ビデオメディア	9
本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式	9
再生できる音楽/動画ファイルについて	10

本機の操作	11
各部の名称と働き	11
操作パネル	11
ハードボタンとタッチキーの操作表記	12
基本操作	12
電源のON/OFF	12
操作パネルの開閉	12
操作パネルの角度を調整する	13
メインメニュー画面について	13
画面のオフ/表示	14
AudioのOFF/ON	14
音量を調整する	14
ラジオを聴く	14
ラジオを選択する	14
ラジオモード画面について	14
放送局を選局する	15
放送局を登録する	16
テレビを観る	16
テレビを観る前に	16
はじめてテレビを観るときは	17
チャンネルリストを表示する	18
テレビメニューについて	18
チャンネル番号を表示する	18
テレビの選局をする	19
テレビの便利な機能を利用する	19
地上デジタル放送の設定をする	20

Discについて	21
再生できるディスクとファイル	21
再生できるDVD/再生できないDVD	21
再生できるCD/再生できないCD	21
使用できないディスク/アクセサリ	21
ディスクの挿入と取り出し	22
DVDを観る	22
DVD機能について	22
DVDを再生する	22
DVDメニューについて	23
DVDメニューを使う	23
動画ファイルディスクを再生する	24
ディスク動画メニュー(MPGなど)について	24
ディスク動画メニュー(MPGなど)を使う	25
CD、ディスク(MP3・WMAなど)を聴く	26
CD、ディスクを再生する	26
CD、ディスク画面について	26
CD、ディスク画面を使う	26

外部機器の操作	27
USBメモリで観る・聴く	27
USBメモリ使用上の注意事項	27
USBメモリの接続	27
USBメモリを再生する	27
USBモード画面について	28
USB動画メニューについて	29
USBモード画面を使う	29
iPod/iPhoneで観る・聴く	30
iPod/iPhone使用上の注意事項	30
iPod/iPhoneの接続	31
iPodを再生する	31
iPod画面について	31
iPod動画メニューについて	32
iPodシンプルコントロールモード画面について	32
Siri Eyes Free機能を使う	32
Bluetoothを使う	33
Bluetooth使用上の注意事項	33
ペアリング	33
Bluetoothデバイスを接続する	34
接続されているBluetoothデバイスを切り替える	34
Bluetoothオーディオを再生する	34
Bluetooth音楽モード画面について	34
Bluetooth音楽モード画面を使う	35
Bluetooth接続で携帯電話を使う	35
電話モード画面について	35
電話をかける	36
電話を受ける(着信に応答する)	36

AUX・リアモニターを使う	37
AUXへの外部機器の接続	37
AUXに接続した外部機器を使う	37
リアモニターを使う(別売)	37
カメラを使う	37
リアカメラ(別売)の接続	37
リアカメラ(別売)を使う	37
設定メニュー	38
設定画面	38
全般設定メニュー	38
ビデオ設定メニュー	39
オーディオ設定メニュー	39
ナビゲーション設定メニュー	39
その他設定メニュー	40
盗難防止	40

困った時は	41
故障かなと思ったら	41
エラー表示について	43
盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら	43

付録 (その他)	43
製品を廃棄・譲渡・転売するときは	43
本機内のデータ消去について	43
データを消去(初期化)する	43
保証書とアフターサービス	44
商標について	44
ナビゲーションのしくみ	45
GPSによる測位	45
マップマッチング	45
誤差について	45
仕様	46

安全にお使いいただくために

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

	警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

	(注意)	注意しなければならない「注意」の内容です。
	(禁止)	してはいけない「禁止」の内容です。
	(実行)	必ず行なっていただく「実行」の内容です。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■ ご使用になるときの注意事項

警告



(禁止)

- 走行中、運転者はナビゲーションの画像を注視しない
道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。走行中は音声案内を参考として、実際の交通規則に従ってください。運転者がナビゲーションの画像を注視するときは、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- 走行中、運転者による操作をしない
前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- 走行中、運転者はテレビやDVDの映像を観ない
前方不注意による交通事故の原因となります。運転者がテレビやビデオの映像を観るときは、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態で使用してください。
- 分解や改造をしない
分解、改造、コードの被服を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- カード類※は 乳幼児の手の届く所に置かない
※microSDカード / mini B-CASカード
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください
- 故障や異常のまま使用しない
画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります
- 機器内部に水や異物を入れない
万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。必ずお買い上げの販売店に相談してください。
- 本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない
本製品には全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があります。予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電のおそれがあります。
- 運転者がテレビやビデオ、ナビゲーションの地図を観るときは、必ず安全な場所に停車させる
安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができなくなります。
- ナビゲーションによるルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
ナビゲーションによるルート案内の中に従って走行すると実際の交通規則に反する場合があります。交通事故の原因となります。
- DC12Vアース車で使用する
DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様車のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



(実行)



注意



(禁止)

- 車載以外に使用しない
けがや感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。
- 開いた操作パネルの上にものを置かない
操作パネルや液晶表示部が、破損・変形し故障の原因となります。
また、飲み物がこぼれることによる発煙や発火、感電、故障の原因となります。
- 操作パネルの可動部や、ディスク挿入口に手や指を入れない
操作パネルの開閉時に手や指をはさみこむと、けがの原因となります。
- 本体・操作パネルを、たたくなど強い衝撃を与えない
操作パネルや液晶表示部が、破損・変形し故障の原因となります。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らない
タッチパネルの反応が遅くなったり、誤操作の原因となることがあります。



(実行)

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 取り付け・取り外しや配線は専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をする、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。
お買い上げの販売店に依頼してください。
- 接続コードの取り付け、取り外しは、エンジンを切って作業する
エンジンをかけた状態で作業すると、故障や誤作動の原因となります。



(注意)

- モニターの立ち上げ収納が、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください
運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 医用電気機器などへの影響を確認してください
本機は、無線機能を搭載しています。
心臓ペースメーカー、その他医用電子機器をご使用になる場合は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。
- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください
- 使用中やエンジンを切った直後に本機のケースに触れないでください
本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後に、本機のケースに触れないでください。

使用上のご注意

安全運転への配慮

- 安全運転への配慮から、ナビゲーション・テレビなどは停車させていないと、一部の操作ができないようになっていきます。
- テレビ・DVDなどの映像が映しだされるのは、停車中だけです。映像をご覧になるときは、必ず、車を安全な場所に停車させ、パーキングブレーキを引いた状態でお願いします。走行中は、音声のみを聴くことができます。

保証についてのご注意(免責事項について)

- 保証を受ける際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
 - ・お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど)
 - ・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
 - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
 - ・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
 - ・正常な使用方法でも消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化した場合およびピックアップレンズなどの清掃などは保証の対象外となります。

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。

正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

ナビゲーションについて

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測定するまで5分～15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測定するまで2分～3分程度かかることがあります。
- 上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない(GPSが受信できる)道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行ってください。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国防衛省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなる場合があります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのままだけを設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承ください。目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- ルート(経路)計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算していただきます。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
- 本機の近くで強力な電磁気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。
- 本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェア及びデータを収録しています。取扱説明書記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア(更新プログラム、データを含む)の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

mini B-CASカードについて

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにmini B-CASカードが必要です。使用許諾契約款をよくお読みのうえ、次のことをお守りください。

- mini B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードの接触（金属）端子面は触らないでください。接触端子面に触れるとカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりカードが故障するおそれがあります。
- mini B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- mini B-CASカードは、分解加工は行なわないでください。
- mini B-CASカードは、カード挿入口に正しく挿入してください。
- ご使用中に、mini B-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなる場合がございます。
- 破損、紛失などmini B-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- 試乗車※など、不特定、または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※ 試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

本機に付属のmini B-CASカードには1枚ごとに異なる番号（ID番号）が付与されています。

ID番号は大切な番号です。（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

- ID番号を忘れてしまったときは、「mini B-CASカード情報を確認する」(20ページ)の手順にて確認してください。

mini B-CASカードに関するお問合せ先について
本機に付属のmini B-CASカードについてのお問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の連絡先へお問合せください。

連絡先：株式会社ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

カスタマーセンター

電話番号:0570-000-250

受付時間:AM10:00～PM8:00(年中無休)

地図専用microSDカードについて

- 本機に格納されているmicroSDカードは、地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカードです。必要とき以外は抜き差ししないでください。
- microSDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- microSDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、microSDカードを拭かないでください。
- microSDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。



- microSDカードの最適化は行わないでください。

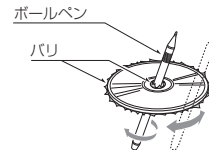
操作(液晶)パネルについて

- 操作/パネルが正常に動作する温度は0℃～60℃です。
- 飲み物や傘に付着した雨水などの液体がかからないようにしてください。機器内部の電子部品が損傷する場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。故障の原因となる場合があります。
- 操作/パネル部に衝撃を加えると、破損や変形、または他の故障の原因となる場合があります。
- ディスプレイ部にたばこの火がふれないようにしてください。
- 問題が生じた場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶/パネル部に小さな黒点や輝点が出ることがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
- 液晶/パネルが汚れた場合は、「操作(液晶)パネルのお手入れ」(8ページ)をご覧ください。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤動作の原因となる場合があります。

ディスクの取扱い

■取り扱い上のご注意

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
- セロハンテープなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりするディスクは使用しないでください。そのままDVDプレイヤーに入れると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因となります。
- 大きな傷、歪み、ひびなどがあるディスクは使用しないでください。そのようなディスクは誤動作や故障の原因となります。
- 保存ケースからディスクを取り出す際は、ケースの中央部分を押し下げ、注意深くディスクの両面を持ちながらディスクを浮かせて取り出してください。
- 市販のディスク保護シートやスタビライザーを付けたディスクなどは使用しないでください。ディスクの損傷や内部機器の故障の原因となります。
- ディスク用クリーナーを使用した場合は、再生の前にディスクをよく乾かしてください。

■保管時のご注意

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くには保管しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所には保管しないでください。
- 暖房の熱が直接あたる場所には保管しないでください。

USBメモリーについて

- USBメモリーが正しく動作するためには「USB mass storage class」と認識される必要があります。一部のモデルは正しく動作しない場合があります。何らかの理由で保存データが消失、または損傷した場合でも、弊社は何ら責任を負うものではないことをご了承ください。
- USBメモリーをご使用になる前にパソコンなどにデータのバックアップを保存されることをおすすめします。
- 以下の状況でUSBメモリーをご使用になると、データファイルが破損する場合があります。
データの読み込み/書き込み中にUSBメモリーの接続を解除した場合、または電源をオフにした場合
静電気または電磁的なノイズの影響を受けた場合

Bluetooth機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

2.4GHz帯を使用する無線機器です。



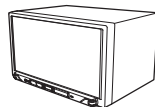
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域は回避可能です。

お手入れについて

本機やCD・DVDのディスク類、TVアンテナ等のお手入れについて説明します。

■ 本機のお手入れ

- 本機をお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ペンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどを使用すると、変質したり、塗料がはがれたりする原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。



■ 操作(液晶)パネルのお手入れ

- 液晶パネル部はホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。表面が傷つきやすいので、硬いものでこすらないでください。
- アルコール、シンナー、ペンジンなどをご使用にならないでください。
- タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。



■ ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりがついた場合は、ディスクの中央から外周に向けて、やわらかい布でふいてください。
- ディスクのお手入れに、市販のクリーナー、静電気防止スプレー、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。



■ テレビアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を軽くしぼり、軽く拭いてください。
- アルコール、シンナー、ペンジンなどをご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- お手入れの際は、アンテナケーブル・フィルムアンテナを引っかけないようにご注意ください。また、アンテナ部に水滴等水分がかからないようにしてください。



本機でご使用できるメディアについて

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディア

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアは以下の通りです。

■ DVD

市販されているDVDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリは、「再生できるディスクとファイル」(21ページ)をご覧ください。

DVD-RディスクなどにMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルやMP4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でDVDをお楽しみいただくには、「DVDを観る」(22ページ)をご覧ください。



■ CD

市販されているCDです。

本機で再生できるディスク、使用できないディスク/アクセサリは、「再生できるディスクとファイル」(21ページ)をご覧ください。

CD-RディスクなどにMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でCDをお楽しみいただくには、「CD、ディスク(MP3・WMAなど)を聴く」(26ページ)をご覧ください。



■ USBメモリー

ご使用できるUSB条件

- USB1.1/2.0
- MSC(USB mass storage class) 対応品

※ 上記に準拠していないUSB 機器は接続しないでください。正しく再生できません。
上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって正しく再生できない場合もあります。
またUSBメモリーによっては、音切れが発生したり、動画が正常に再生できないことがあります。
そのような場合には、ほかのUSBメモリーを使用してください。

USBメモリーにMP3/WMA/AAC/FLAC形式の音楽ファイルやMPEG4形式などの動画ファイルを保存して楽しむことができます。

本機でUSBメモリーをお楽しみいただくには、「USBメモリーを再生する」(27ページ)をご覧ください。



本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

■ 本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式

本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式は下表で○がついたものだけです。

分類	ファイル形式			メディア		
	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD※1	DVD	USB
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○
	.wma	WMA	—	○	○	○
	.m4a	AAC	—	○	○	○
	.flac	FLAC	—	×	×	○
ビデオ	.avi ※2	MP3	MPEG4 visual	○	○	○
	.mp4	AAC	MPEG4 visual	○	○	○
			MPEG4 AVC (H.264)	×	×	○
	.m4v	AAC	MPEG4 visual	×	×	○
			MPEG4 AVC (H.264)			
	.mpg	MP3	MPEG1/MPEG2	○	○	○
	.3gp	AAC, AMR	MPEG4 visual H.263	×	×	○

○:再生できます ×:再生できません

※1 CDで再生できるファイルは、ビットレートが1.5Mbps以下のファイルです。

※2 aviファイルは、一部正常に再生できないことがあります。

■ 本機で再生できるファイル拡張子

●.mp3ファイル(Disc/USB)

- ・フォーマット :MPEG1/2 Audio layer 3
- ・ビットレート :8 k ~ 320 Kbps
- ・サンプリング周波数 :8/12/16 /22.05/ 24/32/44.1/48 KHz

- ・ID3 TAG情報表示
- ・ジョイントステレオ対応

●.wmaファイル(Disc/USB)

- ・フォーマット :Windows media Audio Standard L3 profile
- ・ビットレート :32 k ~ 192 Kbps
- ・サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- ・WMA TAG情報表示 :Title,Artist,Album
- ・DRM/Professional/Lossless/Voice 非対応

●.m4aファイル(Disc/USB)

- ・フォーマット :Advanced Audio Coding LC-AAC,HE-AAC
- ・ビットレート :32 k ~ 320 Kbps
- ・サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz
- ・AAC TAG情報表示 :Title,Artist,Album
- ・Disc :Tag情報が表示されません。
- ・USB :Tag情報が表示されません。

●.flacファイル(USB)

- ・フォーマット :Free Lossless Audio Codec
- ・量子化ビット数 :16, 24 bit
- ・サンプリング周波数 :44.1 KHz ~ 96 KHz

●.aviファイル(Disc/USB)

- ・フォーマット :MPEG4 Visual
- ・ピクチャサイズ :720 × 480
- ・音声フォーマット :MP3
- ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mp4ファイル(Disc)

- ・フォーマット :MPEG4 Visual Simple@L1
- ・ピクチャサイズ :720 × 405
- ・音声フォーマット :AAC
- ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mp4ファイル(USB)

- ・フォーマット :MPEG4 Visual, Simple@L1
- ・ピクチャサイズ :MPEG4 AVC (H.264) Main@L3.0
- ・ピクチャサイズ :720 × 480
- ・音声フォーマット :AAC
- ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.m4vファイル(USB)

- ・フォーマット :MPEG4 Visual, Simple@L1
- ・ピクチャサイズ :MPEG4 AVC (H.264) Baseline@L1.3
- ・ピクチャサイズ :480 × 270
- ・音声フォーマット :AAC
- ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.mpegファイル(Disc/USB)

- ・フォーマット :MPEG1/MPEG2
- ・ピクチャサイズ :720 × 480
- ・音声フォーマット :MP3
- ・音声サンプリング周波数 :32/44.1/48 KHz

●.3gpファイル(USB)

- ・フォーマット :MPEG4 Visual, Simple@L1
- ・ピクチャサイズ :H.263 Baseline@0.1
- ・音声フォーマット :AAC, AMR
- ・音声サンプリング周波数 :8/16/32/44.1/48 KHz

※ 以上のファイル形式は再生できる事をすべて保証するものではありません。
 ※ ご使用になられたコーデックによっては再生できないファイルもあります。

再生できる音楽/動画ファイルについて

本機では、MP3、WMA、AAC、FLACの音楽ファイル、MPG/ MPEG4/AVC などの動画ファイルに対応しています。詳しくは、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(9ページ)をご覧ください。

■ 音楽/動画ファイルについて

- ・MP3とは、MPEG規格のオーディオ・レイヤー3 (MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式です。
- ・WMAとは、マイクロソフトが開発した音声圧縮方式です。
- ・MP3、WMAの音声圧縮方式は、パソコンユーザーの間で標準フォーマットとして浸透しています。オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特徴です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。
- ・AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2、またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生します。
- ・MPEG4とは、Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- ・FLAC(Free Lossless Audio Codec)とは、オープンソースソフトウェアとして開発・提供されている、可逆圧縮が可能なオーディオファイルコーデックの一種です。可逆圧縮は、元の音楽データを劣化させることなく圧縮することができます。その代わり、非可逆圧縮(MP3など)に比べると、ファイルサイズが若干大きくはなります。

●動画ファイルについてのご注意

- ・動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかつたり、音声・映像が乱れる場合があります。
- ・以下のファイルは、正常に再生できなかつたり、再生時に時間がかかるとことがあります。
 - ・極端にサイズの大きいファイル、または極端にサイズの小さいファイル
 - ・極端に再生時間の長いファイル、または極端に再生時間の短いファイル

- ・パケットライト方式には非対応です。
- ・同一ファイル内に音声/映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ・動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ・動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、画像のコマ落ちが発生したり、ノイズが生じたりする場合があります。
- ・USBメモリーのメディアにより正常に再生できない場合があります。
- 音楽ファイルについてのご注意
 - ・音楽ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかつたり、音声にノイズが発生する場合があります。
 - ・パケットライト方式には非対応です。
 - ・MP3/WMA/AACファイルのVBRファイルを再生、早送り/早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
 - ・MP3/WMA/AACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
 - ・ディスク/USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。

- 著作権保護されたファイルについて
 - ・テレビ放送や、ビデオ、DVD、CDなど、個人で作成したものでない映像、音声を含んだもの以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。
 - ・著作権保護された音楽ファイル/動画ファイルは再生できません。

■ 著作権保護されたファイルについて

- ・著作権保護された音楽ファイル/動画ファイルは再生できません。

■ TAG情報の表示について

- ・TAG情報を持つMP3、WMA、AACファイルの場合、タイトル、アーティスト、アルバムタイトルなどのTAG情報を表示することができます。
- ・表示できるタグ情報については、「本機で再生できるファイル拡張子」(10ページ)欄をご覧ください。

- 本機で表示できるID3 TAGは、ID3 TAG/バージョン2.4、2.3、1.1、および1.0です。バージョン2.4、2.3のタグが優先表示されます。

MEMO

TAG情報の文字コードがUNICODEでない場合には、正しく表示されません。

記録フォーマットについて

本機で使用できるライティングソフトのフォーマットは以下の通りです。

●ディスクフォーマット

- ISO9660 (レベル1、2) (拡張フォーマットを含まない)を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には、正常に再生しない場合があります。

●USB機器フォーマット

- FAT32またはFAT16です。

再生できるファイル拡張子について

- 本機で再生できるファイルとファイル拡張子は、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(9ページ)に記載されているものだけです。
- 拡張子をつける場合は、MP3ファイルでは「.mp3」、WMAファイルでは「.wma」のように、必ず半角文字にしてください。拡張子をつけなかった場合や大文字と小文字が混在する場合には、正常に再生できません。
- サポートされていない拡張子のファイルは、再生の際はスキップされ、スキャン再生/ランダム再生/リピート再生モードはキャンセルされます。

お願い

雑音や故障の原因となるため、対応していない音楽ファイル/動画ファイルに、再生可能な拡張子(.mp3/.wma/.mp4/.aviなど)を付けないでください。

対応していない音楽/動画ファイルに再生可能な拡張子をつけると、誤認識して再生され、大きな雑音が出てスピーカーなどを破壊させる恐れがありますので必ずお守りください。

MEMO

同じフォルダ内に拡張子の異なるファイルを保存することができます。

■ファイル名/フォルダ名の表示

- ファイル名とフォルダ名は、使用されている文字によっては、正しく表示されない場合があります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合は、そのファイルは再生できない場合があります。
- MP3/WMA/AACの再生では、ファイル名/フォルダ名をタイトルとして表示することができますが、タイトルはUNICODEで20文字以内となります。それ以上の半角英数/記号を入力したファイル名/フォルダ名は、正しく表示されない場合があります。

■フォルダ数/ファイル数の制限について

認識可能なフォルダ/ファイルの最大数は以下の通りです。最大数を超えて記録されている場合、超過しているフォルダ/ファイルは認識されませんのでご注意ください。

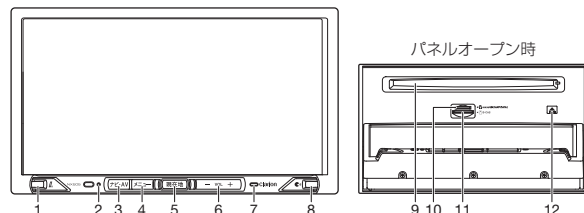
●ディスク

- フォルダ: 最大255
- ファイル: 最大512 (1フォルダあたり最大512)

●USB機器

- フォルダ: 最大65535
- ファイル: 最大65535 (1フォルダあたり最大65535)
- フォルダ階層は8階層以内としてください。これを超える場合は再生できません。又、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

操作パネル



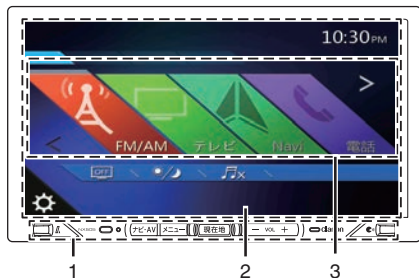
- [OPEN] ボタン**
 - 操作パネルを開閉します。(12ページ)
 - 押すと操作パネルが下にスライドします。
 - 押し続けると操作パネルが一定の角度にスライドし開きます。
- リセットボタン/盗難防止LED**
 - 押すと元の設定を読み込みます。

MEMO
 リセットボタンを押すと、メモリーに保存されている放送局の周波数やオーディオ設定などが消去されます。

 - 盗難防止イルミ設定がonのとき、ACCオフ時、LEDが点滅します。(40ページ)
- [ナビ・AV] ボタン**
 - 押すと、ナビゲーションモードとオーディオモードに切り替わります。
- [メニュー] ボタン**
 - 押すと、メインメニュー画面を表示します。(13ページ)
 - もう一度押すと、最後に使用したオーディオソースを表示します。
 - 押し続けると、画面がオフ非表示状態となります。(14ページ)
- [現在地] ボタン**
 - 電源をON/OFFします。(12ページ)
 - イグニッションがONのときに押すと、本機の電源が入ります。
 - 本機の電源が入っているときに押し続けると、電源が切れます。
- ナビゲーションモードに切り替えます。
 - 電源が入っているときに押すと、ナビゲーションモードになります。
 - 現在地表示中に押すと、検索メニューが表示されます。
- [VOL +] ボタン**
 - 音量を調整します。
- マイク**
 - 内部マイクです。
 - マイク音量は、Bluetooth Audioモード、または電話モード内の設定メニューで、調整します。
- [VOICE] ボタン**
 - 押すとSirius Eyes Free機能を実行します。(32ページ)
- ディスク挿入口**
 - ディスクを挿入します。(22ページ)
- 地図専用microSDカード挿入口**
 - 地図専用microSDカード(地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード)が格納されています。プログラムの更新や地図更新を行う際に、カードの抜き差しを行います。その他の操作時は、抜き差ししないでください。
- mini B-CASカード挿入口**
 - mini B-CASカードを挿入します。(17ページ)
- [▲] イジェクトボタン**
 - 挿入されているディスクをイジェクトします。(22ページ)

ハードボタンとタッチキーの操作表記

本体に付いているハードボタン、画面を指先で触れるだけで操作できる操作パネル上のキーに関して本書では以下のように表記しています。



本書の操作説明上の名称	
1. ハードボタン	2. キー（操作パネル画面上）
3. アイコン（操作パネル画面上）	

本書の記載			
操作箇所	対象	操作記述	操作
 操作の対象となる箇所を指マークが示します	ハードボタン	押す	押しですぐに離します。
	操作パネル(キー、アイコン)	タッチする	タッチしてすぐに離します。
	ハードボタン	押し続ける	- 状態が変化するまで押し続けます。 - 押し続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 - 画面表示などが切り替わった時に離します。
	操作パネル(キー、アイコン)	タッチし続ける	- 状態が変化するまでタッチし続けます。 - タッチし続ける時間は、およそ2秒以上が目安です。 - 画面表示などが切り替わった時に離します。

基本操作

電源のON/OFF

■ 電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」、または「ON」にすると、本機に電源が供給されます。

1. エンジンをかけます
2. [現在地] ボタンを押します
本機に電源が入ります。

⚠ 注意

バッテリーあがり防止のため、本機をご使用するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

MEMO

盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。(40ページ)

■ 電源を切る

1. [現在地] ボタンを押し続けます
本機の電源が切れます。

⚠ 注意

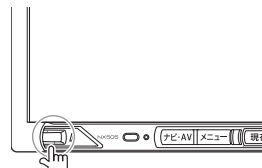
電源を切るときは、音量を最小にしてください。
電源ON時に突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。

操作パネルの開閉

⚠ 警告

- ディスク、SDカード、mini B-CASカードがイジェクトしている状態で操作パネルを閉じないでください。完全に装着されていない状態で操作パネルを閉じると、操作パネルに引っかかり破損する恐れがありますので必ずお守りください。
- 操作パネルの開閉時に手や指を可動部に入れないでください。指がはさみこまれ、怪我をする恐れがあります。

1. [OPEN] ボタンを押します



操作パネルが開きます。

MEMO

[OPEN] ボタンを押し続けると操作パネルがスライドし、手を離れたところでスライドが止まります。

2. 操作パネルを閉じるには、もう一度 [OPEN] ボタンを押します

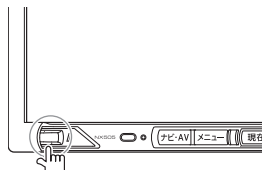
MEMO

操作パネルが開いた状態で、ディスクを挿入すると自動で操作パネルが閉じ、ディスクの再生を開始します。

操作パネルの角度を調整する

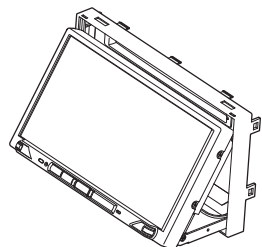
操作パネルを見やすい角度に調整できます。

1. [OPEN] ボタンを押し続けます



操作パネルが開き始めます。

2. [OPEN] ボタンから手をはなす



手を離れたところで操作パネルが止まります。
見やすい位置で調整してください。

MEMO

- 角度調整をしたあとに、操作パネルを開くには [OPEN] ボタンを押してください。
- 角度調整を解除し初期の位置に操作パネルを閉じるには、操作パネルが開いて止まるまで [OPEN] ボタンを押し続け、再度 [OPEN] ボタンを押してください。

メインメニュー画面について

■ メインメニュー画面の表示

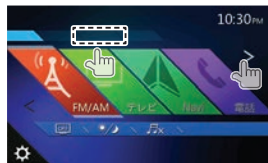
[メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。



画面のアイコンをタッチすると、ラジオモード、テレビモード、電話モードなど、対応するモードに切り替わります。

■ メインメニュー画面のページ切り替え

メインメニューの < > を押すと次のページに切り替わります。アイコン上部のタブをタッチしてもページを切り替えることができます。



アイコンを左右にフリックしてもページを切り替えることができます。

■ 各モード画面の表示

メインメニュー内のアイコンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。



[FM/AM]

ラジオモードを表示します。

[テレビ]

テレビモードを表示します。

[ナビゲーション]

ナビゲーションモードを表示します。

[電話]

電話モードを表示します。

[iPod Audio]

iPod音楽モードを表示します。

[USB Audio]

USB音楽モードを表示します。

[Disc Audio]

CDモード/ディスク音楽モードを表示します。

[Bluetooth Audio]

Bluetooth音楽モードを表示します。

[iPod Video]

iPod動画モードを表示します。

[USB Video]

USB動画モードを表示します。

[Disc Video]

DVDモード/ディスク動画モードを表示します。

[AUX]

AUXモードを表示します。

[カメラ]

カメラモードを表示します。

お願い

[カメラ]を選択して、バックカメラ映像を映したい場合は、バックカメラの電源をアクセサリ (ACC) から接続していないと映すことはできません。

[画面オフ]

画面がオフ/非表示になります。

[昼/夜明るさ]

押すたびに、画面の明るさを昼画面/夜画面に切り替わります。

[Audio Off]

Audio Offモードになり、AudioがOffします。

Audio Offモードを解除するには、[メニュー] ボタンを押して、再生したいアイコンをタッチします。

[設定]

設定メニュー画面を表示します。

画面のオフ/表示

■ 画面をオフにする

1. [メニュー] ボタンを押し続けます
画面がオフし非表示になります。

MEMO

メインメニューの[画面オフ] アイコンをタッチしても画面オフします。

■ 画面を表示する

1. 画面が非表示の状態で、画面にタッチするか、[メニュー] ボタンを押します
画面が表示されます。

MEMO

画面が非表示の状態でエンジンを切った後にエンジンをかけたときは、地図画面またはオーディオ画面等が表示されます。

AudioのOFF/ON

■ AudioをOFFする

1. [メニュー] ボタンを押して、[Audio Off] アイコンをタッチします
Audio Offモードとなり、AudioがOffします。

MEMO

- Audio Offモードで、[ナビ・AV] ボタンを押すと、Audio Offのナビゲーションモードになります。
- Audio Offのナビゲーションモードでも、ナビゲーションの音声案内は出力します。

■ AudioをONにする

1. [メニュー] ボタンを押し、再生したいアイコンをタッチします。
Audio Offモードが解除され、タッチしたアイコンのモードに切り替わります。

音量を調整する

■ 音量を大きくする

1. [VOL +] ボタンを押す
音量が大きくなります。

■ 音量を小さくする

1. [- VOL] ボタンを押す
音量が小さくなります。

⚠ 注意

運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

MEMO

- ナビゲーション案内中に[- VOL +]ボタンを押すと、ナビゲーション音声案内の音量が調整できます。
- 電話着信音/通話中に[- VOL +]ボタンを押すと、電話着信音量と電話通話音量とも同時に調整されます(個別に調整することはできません)。

ラジオを聴く

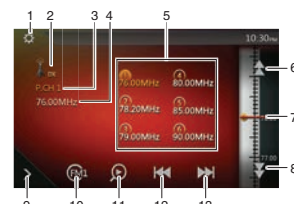
ラジオを選択する

1. [メニュー] ボタンを押し、[FM/AM] アイコンをタッチします
ラジオモード画面が表示され、ラジオを受信します。

MEMO

[FM/AM] アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合、[FM/AM] アイコンのあるメインメニュー画面に切り替えてタッチします。

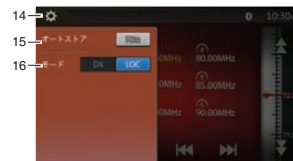
ラジオモード画面について



ラジオモード画面

1. 設定キー
設定メニューを表示
2. 現在のモード
3. 現在のプリセットチャンネル
4. 現在の放送局の周波数
5. 現在のラジオバンドのプリセットリスト
6. 高い周波数へのチューニングキー
タッチする: 高い周波数へ手動チューニング
7. 周波数バー
タッチしたまま上下にスライドし、周波数を変更できます
8. 低い周波数へのチューニングキー
タッチする: 低い周波数へ手動チューニング
9. ショートカット表示キー
10. バンドキー

- ラジオバンドを切り替えます
 - FM1/FM2/FM3/AM1/AM2のラジオバンドが表示されます
11. スキャンキー
プリセットスキャン
 12. 低い周波数へのシークキー
 13. 高い周波数へのシークキー



ラジオモード画面設定メニュー

14. 設定キー
設定メニューを閉じる
15. オートストア項目
16. モード項目
受信感度の切り替え

放送局を選局する

放送局の選局のしかたについて説明します。

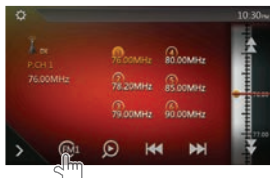
■ ラジオバンドの選択

本機にはFM1、FM2、FM3、AM1、AM2の5つのラジオバンドがあります。

1. バンドキーをタッチし、ラジオバンド (FM1/FM2/FM3/AM1/AM2) を選択します

タッチするたびに、ラジオ受信/バンドが次のように変更されます：

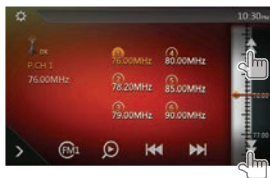
FM1 → FM2 → FM3 → AM1 → AM2 → FM1…



■ ステップ選局

周波数を段階的に変えて選局します。

1. ラジオメニューの[↑]または[↓]キーをタッチします

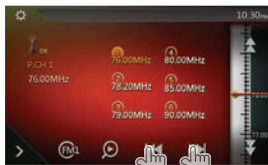


より高い、またはより低い周波数に1ステップずつ変化し、選局します。

■ シーク選局

自動で周波数を切り替え選局します。

1. ラジオメニューの[◀◀]または[▶▶]キーをタッチし続けます



より高い、またはより低い周波数へ自動で切り替え放送局を探します。

停止するには、上記の操作をもう1度繰り返すか、他のラジオ機能のキーをタッチしてください。

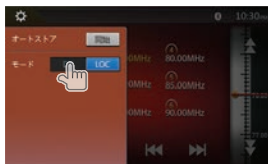
MEMO

放送局を受信すると、シークを停止して放送局の放送が始まります。

■ シーク感度切替

シークの停止感度を切り替えることで、受信信号の強弱に応じた放送局が受信できます。

1. ラジオモード設定メニューを表示し、[モード] 項目の[LOC] (強い電波のみ受信) または [DX] (弱い電波も受信) を選択します



MEMO

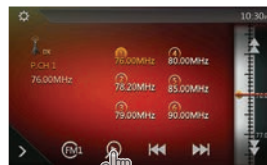
[LOC] にすると、受信できる放送局の数が、減少します。

2. ラジオモード設定キー(⚙)をタッチします
ラジオモード画面に戻ります。

■ プリセットスキャン選局

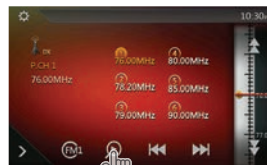
プリセットスキャンで、現在のメモリーに保存されている放送局を順番に受信します。この機能は、メモリー内にある目的の放送局を検索します。

1. スキャンキー(🔍)をタッチします



プリセットされている放送局を順番に受信します。受信周波数の表示色も替ります。

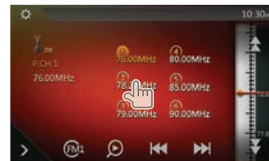
2. 目的の放送局が受信されたら、スキャンキー(🔍)をもう一度タッチします



プリセットスキャン動作が解除され、受信中の放送局が継続して受信します。

■ 登録した放送局(周波数)から選局する

1. バンドキーをタッチし、ラジオバンド (FM1/FM2/FM3/AM1/AM2) を選択します
2. プリセットされた放送局をタッチします



選択 (タッチ) した周波数を受信します。

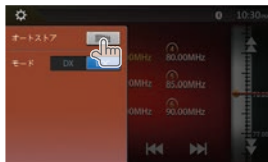
放送局を登録する

放送局の登録のしかたについて説明します。

■自動で登録する(オートストア)

十分な信号強度がある放送局を探知し、FM局はFM3のラジオバンドに、AM局はAM2のラジオバンドに放送局を自動で登録(オートストア)する機能です。

1. FM局をオートストアするときは、[FM1/FM2/FM3]のいずれかのラジオバンドを、AM局をオートストアするときは、[AM1/AM2]のいずれかのラジオバンドに、バンドキーにて切り替えます。
2. ラジオモード設定メニューを表示し、[オートストア] 項目の[開始] キーをタッチします



放送局のスキャンが開始され、探知した放送局を、FM3またはAM2のラジオバンドに登録します。オートストアを停止するには、[中止] キーをタッチします。

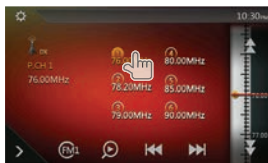
MEMO

- ・自動登録(オートストア)では、FM局はFM3、AM局はAM2のラジオバンドに放送局が登録されます。
- ・FM3・AM2バンドに登録できる放送局は各6局です。
- ・オートストアを行うと、以前登録した放送局は上書きされます。

■手動で登録する(手動ストア)

放送局を手動で登録します。

1. バンドキーをタッチし、登録したいラジオバンド(FM1/FM2/FM3/AM1/AM2)を選択します。
2. ステップ選局(15ページ)/シーク選局(15ページ)/プリセット選局(15ページ)などを使用して、登録したい放送局を選局します
3. 登録したいプリセットキーを、タッチし続けます



選局した放送局の周波数がタッチしたプリセットに登録されます。

MEMO

- ・手動登録(手動ストア)では、FM1、FM2、FM3、AM1、AM2の5つのラジオバンドに放送局を登録することができます。
- ・各バンドに登録できる放送局は各6局です。合計30局を登録することができます。

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

警告

- ・運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- ・本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

MEMO

- ・地上デジタル放送を受信するには、同梱の受信用アンテナを接続してください。
- ・本機は地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えられます。(20ページ)
- ・地上デジタル放送受信時、弱電界の場所では画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時的に止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。
- ・テレビの映像はリアモニターで見ることはできません。

テレビを観る前に

お願い

テレビを視聴するには、「mini B-CASカード」を本機に装着する必要があります。以下の説明・装着手順をご覧になり、付属のmini B-CASカードを本機に正しく装着してください。

■mini B-CASカードについて

mini B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。

地上デジタル放送では、このmini B-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。

地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にmini B-CASカードを入れてください。

MEMO

mini B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

■mini B-CASカード使用上の注意事項

mini B-CASカードのご使用に際しては、使用上の注意事項「mini B-CASカード情報を確認する」(20ページ)をご覧ください。

■mini B-CASカードを台紙から取る

mini B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

mini B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- ・mini B-CASカードに関する内容の問い合わせや、カードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250(AM10:00~PM8:00)(年中無休)

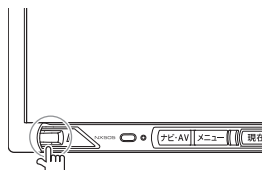
- ・お問い合わせ時にmini B-CASカードのID(識別)番号が必要となる場合があります。あらかじめカードのID番号は控えておいてください。(20ページ)

■ mini B-CASカードのセット

MEMO

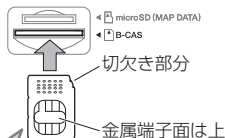
- mini B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口に mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。

1. [OPEN] ボタンを押し、操作パネルを開けます



2. エンジンを切ります

3. 金属端子面を上にして、mini B-CASカードをカード挿入口に挿入します



注意

- mini B-CASカードは、正しい向きに挿入してください。正しい向きに挿入しないと、mini B-CASカードが破損するなど故障の原因となります。
- mini B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。(「カチッ」と音がするまで差し込みます。)
- 「カチッ」と音がする位置まで差し込まないで使用すると正常に動作しなくなったり、操作パネルを閉じるときに、mini B-CASカードとぶつかり破損する恐れがあります。必ずお守りください。

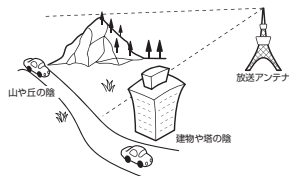
MEMO

mini B-CASカードを抜く場合は、操作パネルを開け、エンジンを切って、mini B-CASカードを指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりとつまんで手前に抜き取ります。カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。

■ テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなる場合があります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめてテレビを観るときは

お願い

はじめて地上デジタルテレビを観るときは、地域で受信できる放送局を探して、本機に記憶させる必要があります。以下の手順にて、チャンネルスキャン(放送局の自動記憶)を行ってから、テレビ放送をお楽しみください。

■ チャンネルスキャン

1. [メニュー] ボタンを押し、[テレビ] アイコンをタッチします
2. 画面をタッチします
テレビメニューが表示されます。
3. 設定キー(⚙️)をタッチします



4. [全スキャン] キーをタッチします



チャンネルスキャン決定のポップアップ画面が表示されます。

5. [決定] キーをタッチします

チャンネルスキャンが開始され、受信できる放送局を探して登録されます。

終了するまでしばらくお待ちください。

チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

[全スキャン]機能を使って受信可能なチャンネルをストアし直すことができます。

チャンネルリストを表示する

チャンネルスキャン終了後、本機のチャンネルリスト(選局ポジション: 1~12)には、受信可能なチャンネルが設定されます。

設定されるリストは、チャンネルスキャンを実施した地域(お住まいの地域)に対応した放送局名となります。

東京の例	大阪の例
1 NHK総合・東京	1 NHK総合・大阪
2 NHKEテレ・東京	2 NHKEテレ・大阪
3 放送なし(割り当てなし)	3 放送なし(割り当てなし)
4 日本テレビ	4 MBS毎日放送
5 テレビ朝日	5 放送なし(割り当てなし)
6 TBS	6 ABCテレビ
7 テレビ東京	7 テレビ大阪
8 フジテレビ	8 関西テレビ
9 東京MXテレビ	9 放送なし(割り当てなし)
10 放送なし(割り当てなし)	10 読売テレビ
11 放送なし(割り当てなし)	11 放送なし(割り当てなし)
12 放送大学	12 放送なし(割り当てなし)

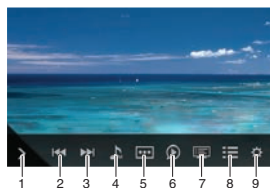
上記は、受信状態の一例です。お住まいの地域や、スキャン時の電波の強弱などの諸条件によって、受信結果が異なる場合があります。

MEMO

- チャンネルスキャンを実施した地域によっては、複数の各地域向け放送局の電波が受信できる場合があります。
- 割り当てる選局ポジションが同じ、複数の局を受信した場合、1局のみが指定のチャンネルに設定されます。
- そのほかの放送局は、割り当てのない空きチャンネルに自動的に振り当てられます。
- 割り当てのなしの場合は、空欄で表示されます。

テレビメニューについて

テレビモードで画面をタッチすると、操作バーのテレビメニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



テレビメニュー画面

- ショートカット表示キー
- チャンネルダウンキー
- チャンネルアップキー
- 主/副音声切替キー
- 字幕切替キー
- クイックサーチキー
中継局サーチを行います
- 番組表キー
- チャンネルリストキー
- 設定キー
テレビ設定メニューへ切り替え

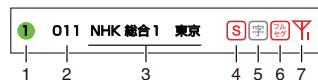


テレビ設定メニュー画面

- ショートカット表示キー
- [全スキャン] キー
チャンネルスキャンを行います
- [受信モード] キー
受信モードの切替
- [中継局サーチ] キー
中継局サーチの設定
- [初期設定] キー
工場出荷状態に戻す
- [情報] キー
mini B-CASカード番号、チューナーバージョンの表示
- 設定キー
テレビメニューへ戻る

チャンネル番号を表示する

テレビ受信中、画面をタッチすると、受信中のチャンネル番号や、受信モード等が画面上部に表示します。



- チャンネル番号
- 放送局、マルチ編成番組番号
- 放送局名
- 音声放送モードの表示
S:ステレオ放送
M:モノラル放送
多:音声多重放送
主:主音声
副:副音声
- 字幕放送モード、字幕表示モード
字(灰色):字幕放送無し
字(黒色):字幕放送あり、字幕 非表示
字(赤色):字幕放送あり、字幕 表示
- 受信モードの表示
- 受信電波の強度表示

テレビの選局をする

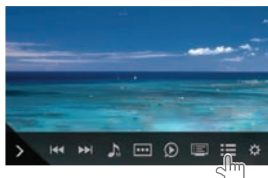
現在観ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えられます。

■チャンネルリストから選局する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. チャンネルリストキー(■)をタッチします



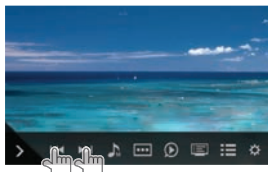
3. 表示されたチャンネルリストから受信したい放送局をタッチします



選局したチャンネルを受信します。

■サーチキーで選局する

1. [◀◀]または[▶▶] キーをタッチします



チャンネルスキャンで登録されたチャンネルのアップまたはダウン選局を行います

MEMO

- マルチ編成の放送があった場合は、サーチキーのアップダウンでのみ選局できます。
- サーチキーや、チャンネルリストからの選局で、すばい選局操作を行なうと、受信チャンネルの切り替えが追従できない場合があります。

■マルチ編成の番組選局について

地上デジタル放送では、一つのチャンネルで、2種類又は3種類の番組が放送されている事があります。チャンネルリストからチャンネルを選局するとサブ1の番組が選局されます。サブ2またはサブ3の番組を選択するには、テレビメニューで[▶▶] キーをタッチすることでサブチャンネルが切り替わり選局できます。

■受信可能な中継局を探す

走行中に電波状況が悪化し受信できなくなった場合など、中継局を探して切り替えることができます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. クイックサーチキー(■)をタッチします

走行エリア内で、受信状態の良い中継局を探し切り替えます。

異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局を自動で探し出して受信できます。(19ページ)

■中継局を自動で探す

受信電波が弱く映りが悪いときなど、受信状況に応じて最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 設定キー(■)をタッチします

3. [中継局サーチ] キーをタッチし項目を選択します



Off :

中継局の自動サーチを行いません。

自動 :

約15秒間連続して受信なしと判断すると中継局サーチを開始します。

MEMO

- 中継局サーチ
受信中の放送局が複数のチャンネル(中継局)を使って放送している場合、受信状態の最適なチャンネルを探して観ることができます。移動などにより、受信している番組が見つからなくなったなどにご使用ください。
- 初期設定は[Off]です。
- [Off]設定の場合でも、[クイックサーチ]をタッチすることにより強制的に中継局サーチを開始することができます。

テレビの便利な機能を利用する

■番組表を見る

現在受信中の番組表を表示します。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 番組表キー(■)をタッチします

現在受信チャンネルの番組表一覧が表示されます。

3. [UP]または[DOWN] キーで番組表をスクロールして詳細内容を見たい番組をタッチします

詳細情報が表示されます

4. 確認後は[戻る] キーをタッチします

MEMO

- 走行中は、本操作を行えません。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送でフルセグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

■ワンセグ／フルセグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、フルセグ放送受信時に電波が弱くなった場合、フルセグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。

[自動]に設定中は、フルセグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

また、ワンセグ／フルセグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合やフルセグで視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。
- 放送局によっては、フルセグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 設定キー(設定)をタッチします

設定メニューが表示されます。

3. [受信モード] キーをタッチして項目を選択します



自動:

フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

フルセグ:

フルセグ放送を受信します。

ワンセグ:

ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 初期設定は[自動]です。
- [フルセグ]に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、画像が映らなくなります。

■二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 主/副音声切替キー(主/副)をタッチして項目を選択します

主音声 (M)、副音声 (S) から選択します。

MEMO

- 初期設定は主音声です。
- 副音声の状態ではほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声が放送されていればそのまま継続されます。

■字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

本機では第一言語のみ表示できます。

字幕放送の有無、字幕表示/非表示についてはチャンネル番号を表示する欄をご覧ください。

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 字幕切替キー(字幕)をタッチして項目を選択します

[表示 (文字赤色)], [非表示 (文字黒色)] から選択します。

MEMO

初期設定は[非表示]です。

■mini B-CASカード情報を確認する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 設定キー(設定)をタッチします

設定メニューが表示されます。

3. [情報] キーをタッチします

mini B-CASカードの情報確認画面が表示されます。

上側: ID番号が表示されます。

下側: チューナーのファームウェアバージョンが表示されます。

■テレビの設定情報を初期化する

1. 画面をタッチします

テレビメニューが表示されます。

2. 設定キー(設定)をタッチします

設定メニューが表示されます。

3. [初期設定] キーをタッチします

4. [決定] キーをタッチします

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。

MEMO

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。
- 出荷状態に戻したときは、必ずチャンネルスキャンを行ってください。

Discについて

再生できるディスクとファイル

本機では、以下のマークのある市販ディスクとメディアファイルを再生できます。

再生できるディスク	再生できるメディアファイル
 DVD-Video	 MP3/WMA/AAC
 音楽CD	 MP4
 CDテキスト	

再生できるDVD/再生できないDVD

本機で再生できるDVDは○がついたディスクだけです。

ディスク	再生可否	再生できる条件など
市販のDVDビデオ	○	リージョン番号が「ALL」と「2」、または「2を含む」ディスクが再生できます。
DVD-R, DVD-RW	○	以下のディスクが再生できます。 • DVD-VRモード(CPRM対応)で録画したディスク • DVD-ビデオモードで録画したディスク
DVD+R, DVD+RW	○	• 「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(9ページ)記載のファイル形式で記録したディスク
DVD-R DL, DVD+R DL	○	但し、以下のディスクは再生できません • バケットライト方式で録画されたディスク
DVD-ROM	○	• ご家庭でハイビジョン録画したディスク(例 東芝製:HD DVD/HD Rec(VRモード)、パナソニック・東芝製等:AVCREC)
DVDオーディオ	X	
DVD-RAM	X	

○:再生できます。(条件つき再生を含む) X:再生できません。

MEMO

リージョン番号について

- DVDディスクとDVDプレイヤーには、発売地域ごとにリージョン番号が割り当てられています。
- 日本で再生できるリージョン番号は、「ALL」と「2」、または「2を含む」ディスクだけです。

MEMO

- ファイナライズ処理されていない「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」ディスクは再生できません。
- ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- 「DVD-R, DVD-RW」「DVD+R, DVD+RW」「DVD-R DL, DVD+R DL」ディスクは記録状態によって再生できない場合があります。
- 傷がついているディスク、ソリが大きいディスク、汚れ/ほこりが付着しているディスクは、再生できない場合があります。
- DVD-VRモードでは、Disc挿入後の読み込み時間が長くなりますが、故障ではありません。

再生できるCD/再生できないCD

本機で再生できるCDは○がついたディスクだけです。

ディスク	再生可否	再生できる条件など
市販の音楽CD	○	
市販のCD-TEXT	○	
CD-R	○	以下のディスクが再生できます • MP3/WMA/AACのファイル形式で記録したディスク 但し以下のディスクは再生できません • バケットライト方式で記録されたディスク
CD-RW	○	
CD-ROM	○	
CD-Extra	○	オーディオセッションのみ再生できます。Dataセッションが2セッション以上記録されている個人が作成したディスクは再生できません
HDCCD	○	通常の音楽CDの音質で再生します。
Super Audio CD	X	
8cm CD	X	
コピーガード付きCD	X	
DTS CD	X	
ビデオCD	X	
MIX MODE CD	X	
CCCD	X	
フォトCD	X	
デュアルディスク	X	

○:再生できます。(条件つき再生を含む) X:再生できません。

MEMO

- ファイナライズ処理されていない「CD-R」「CD-RW」ディスクは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。
- ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- ノンストップで記録された音楽CD/CD-TEXTの場合、曲間でミュートされることがあります。
- 傷がついているディスク、ソリが大きいディスク、汚れ/ほこりが付着しているディスクは、再生できない場合もあります。

使用できないディスク/アクセサリ

注意

下記のディスクは取り出せなくなる恐れがありますのでご使用しないでください。

- 8cm CD/8cm CD アダプター
- 異型ディスク (カード型・ハート型など)
- デュアルディスク(Dual Disc)
- ラベル、テープ、保護シートなどを貼り付けたディスク、保護シートを装着したディスク

ディスクの挿入と取り出し

■ディスクの挿入

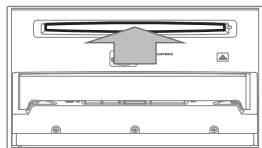
1. [OPEN] ボタンを押します

操作パネルが開きます。

リモコン操作

[OPEN] ボタンを押すと操作パネルが下にスライドします。

2. ディスクラベル面を上にして、ディスク挿入口の中央に挿入します



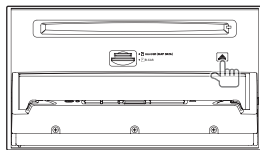
ディスクがロードされ、操作パネルが閉じてDISCが再生されます。

△ 注意

- 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
- ディスクが挿入しにくい場合は、本機の中にすでに他のディスクが入っている可能性がありますので無理に挿入しないでください。

■ディスクの取り出し

1. [▲] ボタンを押します



ディスクを取り出すと、ラジオモード画面に切り替わります。

排出されたディスクをそのままにしておくと、自動的にディスクが引き込まれます（オートリロード機能）。

MEMO

- オートリロード前に無理にディスクを押し込むと、ディスク表面に傷がつく場合があります。
- ディスクが損傷しないよう、ディスクが排出されてから取り出すようにしてください。

DVDを観る

本機は、DVDの高画質・高音質を再現できます。

本機のDVD機能は、DVD-Video、DVD-VRモードに対応しています。

DVD機能について

本機は、以下のDVD機能に対応しております。

MEMO

- 以下に説明するマルチ音声言語、サブタイトル、アングルなどは、DVDによって異なります。
- 詳しくは、DVDの説明書をご覧ください。
- 一部のディスク機能は本書の説明とは異なる動作となる場合があります。

■マルチ音声言語機能

DVDは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている音声数は、以下のようなアイコンで示されます。



■マルチアングル機能

DVDに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されている場合、お好みのアングルで映画を見ることができます。

- ディスクに記録されているアングル数は、以下のようなアイコンで示されます。



■サブタイトル(字幕言語)機能

DVDは、1本の映画の中に最大32ヶ国語の字幕言語を収録できますので、お好みの字幕言語で映画を見ることができます。

- ディスクに記録されている字幕言語数は、以下のようなアイコンで示されます。



■マルチストーリー機能

DVDに複数のストーリーが収録されている場合、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なります。再生時に表示されるストーリー選択方法に従って操作をしてください。

DVDを再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し」(P.22)をご覧ください。

1. ディスク挿入口にDVDを入れます

自動的にDVDモードになり再生が始まります。

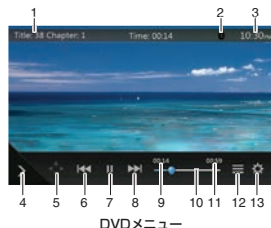
2. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc Video] アイコンをタッチすると、DVDモードになり再生が始まります。

△ 警告

- 安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。
- 運転者がDVDの映像を見る時は、必ず安全な場所に停車させてください。
- 安全のため本機は停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は音声のみお楽しみください。
- 一部のDVDは、想定以上の大きな音量で収録されているものがあります。音量は、再生開始後に、小さな音量から徐々にあげてください。

DVDメニューについて

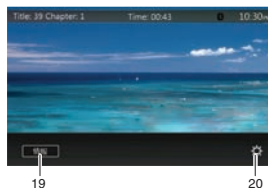
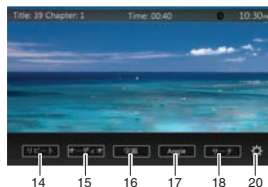
DVD再生時に画面をタッチすると、DVDメニューが表示されます。DVDメニューは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



1. 再生ステータス
2. Bluetoothステータス
3. 時刻表示
4. ショートカット表示キー
5. 方向キー表示キー

6. 前へ/早戻しキー
タッチする: 前のチャプターへ
タッチし続ける: 早戻し
7. プレイ/ポーズキー
8. 次へ/早送りキー
タッチする: 次のチャプターへ
タッチし続ける: 早送り

9. 再生経過時間
10. シークバー
11. 再生所要時間
12. DVDタイトルメニューキー
13. 設定キー
メニューの切り替え



DVD設定メニュー

14. [リビート] キー
15. [オーディオ] キー
16. [字幕] キー
17. [Angle] キー
18. [サーチ] キー
チャプター/タイトルダイレクト検索
19. [情報] キー
20. 設定キー
メニューの切り替え

DVDメニューを使う

DVDメニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

■チャプターをスキップする(検索)

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします
タッチした回数分、チャプターがスキップされ、再生が開始されます。

■シークバーでスキップする

1. 再生中に[シークバー]をドラッグする
再生を開始したい位置まで、シークバー下の丸(●)をドラッグ(タッチしたままスライド)します。



■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます
早戻し/早送りが開始します。
タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、16倍になります。
タッチをやめると、通常の再生に戻ります。

MEMO

- ・早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- ・早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■チャプター番号/タイトル番号で再生する

DVDディスク上に記録されたチャプター番号/タイトル番号を使用して、シーンを再生することができます。

1. DVD設定メニューを表示し、[サーチ] キーをタッチします

10キー入力画面が表示され、チャプター番号/タイトル番号の入力モードになります。

2. チャプター番号を入力する場合は[Chapter] キー、タイトル番号を入力する場合は[Title] キーをタッチします

MEMO

- ・Chapter
ディスクの中の本編、メイキング、得点映像などの大きな区切り
- ・Title
タイトルの中のシーンなどの小さな区切り

3. 再生したいチャプター番号/タイトル番号を10キー([0]から[9])で入力します

4. [決定] キーをタッチします



入力したチャプター番号/タイトル番号のシーンから再生が開始されます。

MEMO

入力したチャプター番号/タイトル番号がディスク上に存在しない場合、またはチャプター番号/タイトル番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。

■リビート再生をする

DVDに記録されたチャプターを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

1. DVD設定メニューを表示し、[リビート] キーをタッチします

[リビート] キーをタッチするたびに[チャプターリビート]、[タイトルリビート]、[全リビート]、[リビート オフ]の順に切り替わります。

■タイトルメニューから再生する

2つ以上のタイトルが収録されているDVDディスクの場合、再生するタイトルをタイトルメニューから選択することができます。



1. DVDメニューを表示し、再生中にDVDタイトルメニューキーをタッチします

- ・タイトルメニューが表示されます。
- ・タイトルメニューが表示されないディスクもあります。

2. タイトルメニューにタッチし、方向キー表示キーをタッチします

方向キーが表示されます。

3. [◀][▶][▲][▼]方向キーを使用して、タイトルメニューの項目を選択します

方向キーでは項目を選択できないディスクもあります。

4. [決定] キーをタッチします

選択した項目が再生されます。

■音声を切り替える

ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。

1. DVD設定メニューを表示し、[オーディオ] キーをタッチします

タッチするたびに、音声切り替わります。

MEMO

- ・音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては、最大8種類の音声が入力されています。詳しくはディスクのマーク(Ⓢ)：音声(8種類の場合)をご覧ください。
- ・電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が収録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
- ・ディスクによっては音声が入力されていないシーンがあります。

■字幕言語を切り替える

ディスクに字幕が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. DVD設定メニューを表示し、[字幕] キーをタッチします

タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

MEMO

- ・字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては、最大32種類の字幕言語が収録されています。詳しくはディスクのマーク(Ⓢ)：字幕言語(8種類の場合)をご覧ください。
- ・ディスクによっては字幕言語が入力されていないシーンがあります。

2. 字幕言語を表示させたくない場合は、字幕言語が表示されなくなるまで[字幕] キーのタッチを繰り返します

■DVD再生ステータスを表示する

1. DVD設定メニューを表示し、[情報] キーをタッチします

DVD再生ステータスが表示されます。

動画ファイルディスクを再生する

本機は、ディスクに保存された動画ファイル(MPGなど)を再生することができます。

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し」(22ページ)をご覧ください。

1. ディスク挿入口に動画ファイルディスクを入れます

自動的にディスク動画モードになり再生が始まります。

2. ディスクがすでに入っているときは、メインメニュー画面の[Disc Video] アイコンをタッチするとディスク動画モードになり再生が始まります

ディスク動画メニュー(MPGなど)について

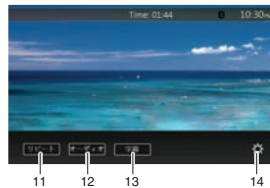
ディスク動画モードで再生時に画面をタッチすると操作バーのディスク動画メニューが表示されます。操作バーは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



ディスク動画メニュー

1. 再生ステータス
2. Bluetoothステータス
3. 時刻表示
4. ショートカット表示キー
5. 前へ/早戻しキー
タッチする：前のファイルへ
タッチし続ける：早戻し
6. プレイ/ポーズキー

7. 次へ/早送りキー
タッチする：次のファイルへ
タッチし続ける：早送り
8. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
9. ファイルリストモード表示キー
10. 設定キー
ディスク動画設定メニューへ切り替え



ディスク動画設定メニュー

11. [リポート] キー
12. [オーディオ] キー
13. [字幕] キー
14. 設定キー
ディスク動画メニューへ戻る



ディスク動画ファイルリストモード画面

15. 設定キー
設定メニューを開く
16. 再生ステータス
17. 動画ファイル(ファイルリスト)
18. 次へ/早送りキー
タッチする：次のファイルへ
タッチし続ける：早送り
19. 前へ/早戻しキー
タッチする：前のファイルへ
タッチし続ける：早戻し

20. プレイ/ポーズキー
 21. シークバー
 22. ショートカット表示キー
 23. リピートキー
 全リピート / 1トラックリピート / 1フォルダリピートの切替
 24. ランダムキー
 ランダムオン / オフの切り替え
 25. フォルダ表示
 現在のフォルダ名

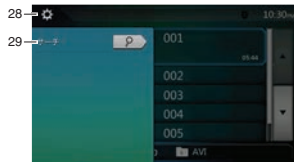
フォルダイコン上の数値は、フォルダに保存されているファイルの数です。
 フォルダ表示部をタッチすると、現在のフォルダの一つ上のフォルダ内のリストが表示されます。

MEMO

- 地デジを録画したCPRMディスク再生時のファイルリストは次のように表示されます。
- 再生中の動画：ハイライト表示され、番組名の下に、録画の日付けと時刻が表示されます。
 - 再生中以外の動画：番組名の右側に録画の日付けが表示されます。

26. Title：再生中の動画のTitle
 27. リスト切替キー

リスト表示アイテムが2ページ以上ある時に表示されます。



ディスク動画ファイルリスト設定メニュー

28. 設定キー
 設定メニューを閉じる
 29. [サーチ] 項目
 ダイレクト検索

ディスク動画メニュー(MPGなど)を使う

ディスク動画メニューの操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

■前の/次のファイルに切り替える

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします

■シークバーでスキップする

1. 再生中に[シークバー]をドラッグする
 再生を開始したい位置まで、シークバー下の丸(●)をドラッグ(タッチしたままスライド)します。

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます
 早送り/早戻りが開始します。
 タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、16倍になります。
 タッチをやめると、通常の再生に戻ります。

MEMO

- ・早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- ・早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

■動画ファイルリストを表示する

1. ディスク動画メニューのファイルリストモード表示キーをタッチします

動画ファイルリストが表示されます。

動画ファイルリストの次の操作は、オーディオファイルリストと同様です。「リストからトラック、ファイルを選択する」(P.26)、「トラック番号で再生する」(P.27)、「スキャン再生をする」(P.27)それぞれの説明をご覧ください。

■音声を切り替える

動画ファイルに2種類以上の音声チャンネルが保存されている場合、再生中に音声チャンネルを切り替えることができます。

1. ディスク動画設定メニューを表示し、[オーディオ] キーをタッチします

タッチするたびに、音声切り替わります。

MEMO

- ・音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては音声がつまつく切り替えられない場合があります。

■字幕言語を切り替える

動画ファイルに字幕言語が収録されている場合、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1. ディスク動画設定メニューを表示し、[字幕] キーをタッチします

タッチするたびに、字幕言語が切り替わります。

MEMO

- ・字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては字幕言語がつまつく切り替えられない場合があります。

■リピート再生をする

DVDに保存された動画ファイルを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

初期設定では、全リピート再生が設定されています。

1. ディスク動画ファイルリストモード画面を表示し、リピートキー([C])をタッチします

タッチするたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ランダム再生をする

1. ディスク動画ファイルリストモード画面を表示し、ランダムキー([X])をタッチします

ランダムがONになります。

もう一度タッチするとランダムがOFFになります。

2. 動画を再生するとランダム再生が開始されます。

CD、ディスク(MP3・WMAなど)を聴く

CD、ディスクを再生する

ディスクの挿入/ディスクの取り出しについては、「ディスクの挿入と取り出し(22ページ)」をご覧ください。

1. [OPEN] ボタンを押して、操作パネルを開きます。
2. ディスク挿入口にCDを入れます
自動的にCDモードになり再生が始まります。
3. ディスクがすでに入っている場合は、メインメニュー画面の[Disc Audio] アイコンをタッチすると再生が始まります

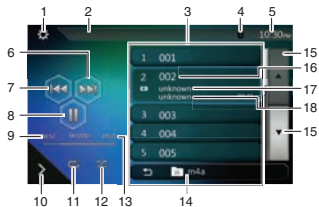
警告

安全のため、運転者は走行中にディスクの挿入や取り出し、その他の操作を行わないでください。

CD、ディスク画面について

MEMO

CDとディスクの表示するメニューは、一部異なります。



CD、ディスク画面

CD、ディスク設定メニュー

1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. CDトラック、音楽ファイル(ファイルリスト)
4. Bluetoothステータス
5. 時刻表示
6. 次へ/早送りキー
タッチする: 次のトラック、ファイルへ
タッチし続ける: 早送り
7. 前へ/早戻しキー
タッチする: 前のトラック、ファイルへ
タッチし続ける: 早戻し
8. プレイ/ポーズキー
9. 再生経過時間
10. ショートカット表示キー
11. リピートキー
全リピート / 1トラックリピートの切替
全リピート / 1トラックリピート / 1フォルダリピートの切替(ディスクの場合)
12. ランダムキー
ランダムオン / オフの切り替え
13. 再生所要時間
14. フォルダ表示(ディスクのみ)
現在のフォルダ名
フォルダアイコン上の数値は、フォルダに保存されているファイルの数です。
15. リスト切替キー
リスト表示アイテムが2ページ以上ある時に表示されます。
16. Title: 再生中の曲のTitle
(情報があるCD、ディスクのみ表示)
17. Artist: 再生中の曲のArtist
(情報があるCD、ディスクのみ表示)
18. Album: 再生中の曲のAlbum
(情報があるディスクのみ表示)
19. 設定キー
設定メニューを開ける
20. [サーチ] 項目
ダイレクト検索
21. [スキャン] 項目
スキャン再生の開始と停止の切り替え

CD、ディスク画面を使う

CDモード画面の操作方法について説明します。

再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

前の/次のファイル/トラックに切り替える

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします
前の/次のファイル/トラックの再生が開始されます。

MEMO

- [▶▶] キーをタッチすると、次のトラックの先頭から再生が開始されます。
- [◀◀] キーをタッチすると、現在のトラックの先頭から再生が開始されます。5秒以内にもう一度タッチすると、前のトラックの先頭から再生が開始されます。

早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます
早戻し/早送りが開始します。

タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、16倍になります。タッチをやめると、通常の再生に戻ります。

MEMO

- 早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- 早送り/早戻しの速度は、ディスクによって異なる場合があります。

リピート再生をする

初期設定では、全リピート再生が設定されています。

1. 1トラックリピート再生にするには、リピートキー(🔁)をタッチします
2. 全リピート再生に戻すには、もう一度タッチします

MEMO

フォルダがある場合、タッチするたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

ランダム再生をする

1. 再生中に、ランダムキー(🎲)をタッチします
トラックのランダム再生が開始されます。

2. ランダム再生を終了する場合は、もう一度タッチします

リストからトラック、ファイルを選択する

ファイルリストからトラックを選択し、再生することができます。

1. リスト上のトラックタイトルにタッチします
タッチしたトラックの再生が開始されます。

MEMO

- リスト上のフォルダをタッチするとタッチしたフォルダ内のファイルリストが表示されます。
- 再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。
- リスト下の現在のフォルダ表示をタッチすると上の階層のフォルダへ移動します。[ROOT]と表示されている場合は、そのディスクの一番上の階層です。

■トラック番号で再生する

CD、ディスク上に記録されたトラック番号を使用し、再生することができます。

1. CDモード設定メニューを表示し、[サーチ] 項目の[] キーをタッチします
10キー入力画面が表示されます。

2. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力し、[決定] キーをタッチします
入力したトラック番号のトラックが再生されます。



MEMO

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[Back] キーをタッチします。

■スキャン再生をする

スキャン再生とは、ファイルの頭を10秒間ずつ順次再生する機能です。

目的のファイルを探すときなどに使用します。

1. 設定メニューを表示し、[スキャン] 項目の[開始] キーをタッチします

- 直前に再生されていたファイルの次のファイルが10秒間再生され、引き続き以降のファイルが順次10秒間ずつ再生されます。

MEMO

キー表示が、[開始]から[中止]に切り替わります。

2. スキャン再生動作中のファイルを継続して再生するときは、[中止] キーをタッチします。

- スキャン再生動作が解除され、現在のファイルが継続し再生します。

MEMO

スキャン再生動作が解除されると、キー表示は、[中止]から[開始]に切り替わります。

3. 設定メニューを閉じます

USBメモリーで観る・聴く

USBメモリー使用上の注意事項

USBメモリーのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」(5ページ)、「使用上のご注意」(6ページ)および本書内に記載の注意事項をご覧ください。

USBメモリーの接続

■USBメモリーを接続するには

1. USBケーブルにUSBメモリーを接続します

USBメモリーを接続すると、本機にファイルが自動的に読み込まれます。



MEMO

- USBメモリーの接続は、本機の取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。
- USBメモリーを接続している場合にはiPhone®/ iPod®を接続することができません。

■USBメモリーを取り外すには

1. メインメニュー画面で[USB Audio]、[USB Video] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

⚠ 注意

USB音楽/動画モード画面表示に、USBメモリーを取り外すとデータが損傷する場合があります。

2. USBメモリーを取り外します

USBメモリーを再生する

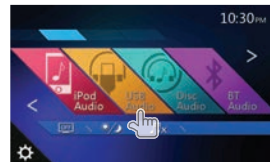
■音楽ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した音楽ファイル (MP3/WMA/AAC/FLAC) を再生できます。音楽ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、オーディオデバイスとして使用できます。

⚠ 注意

- 本機で対応するUSBメモリーは、USB mass storage classです。
- 一部のUSBメモリーでは正しく操作や、再生ができないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。

1. 音楽ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します
2. メインメニュー画面の[USB Audio] アイコンをタッチします



USB音楽モードとなり音楽の再生が始まります。

音楽ファイルの操作は、「リスト表示からファイルを選択する」(29ページ)をご覧ください。

MEMO

- 本機に接続済みのUSBメモリーにアクセスするには、メインメニュー画面で[USB Audio]アイコンをタッチします。
- [USB Audio]アイコンが現在のメインメニュー画面にない場合は、「メインメニュー画面のページ切り替え」(13ページ)をご覧ください。だき、メニュー画面の切り替えをしてください。
- 前回接続を解除したUSBメモリーと同じものを再度接続すると、接続を解除したときの位置から再生が開始されます。

MEMO

- 本機に接続済みのUSBメモリーにアクセスするには、メインメニュー画面で[USB Video]アイコンをタッチします。
- 前回接続を解除したUSBメモリーと同じものを再度接続すると、接続を解除したときの位置から再生が開始されます。

■ 動画ファイルの再生

本機では、USBメモリーに保存した動画ファイル(MPGなど)を再生できます。動画ファイルをUSBメモリーにコピーするだけで、ビデオデバイスとして使用できます。

本機で再生できる動画ファイルに関して詳しくは、「仕様(46ページ)」、「本機で再生できるオーディオ・ビデオメディアのファイル形式」(9ページ)、「動画ファイルディスクを再生する」(24ページ)を参照ください。

△ 注意

- 本機は、一部のUSBメモリーでは正しく操作や再生ができないことがあります。
- DRMで保護されたファイルは、再生できません。
- サポートされているファイルがない場合は、ファイルリストに何も表示されません。
- USBメモリーの動画映像はリアモニターで見ることができます。

1. 動画ファイルの入ったUSBメモリーをUSBケーブルに接続します

2. メインメニュー画面の[USB Video]アイコンをタッチします。

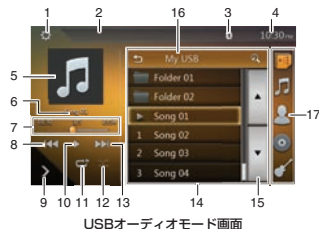
USB動画モードとなり動画の再生が始まります。

USBモード画面について

MEMO

USBオーディオとUSB動画の表示するメニューは、一部異なります。

USBモード画面が表示されます。(ファイルリストなどが表示されています)



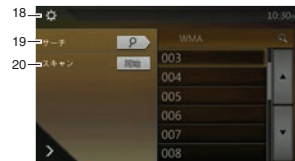
1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. Bluetoothステータス
4. 時刻表示
5. アルバムアートワーク表示(MP3、FLACのオーディオのみ)

MEMO

アルバムアートワークは、MP3とFLACのみ対応となります。WMA、AACおよび動画ファイルでは、表示できません。

6. タグ、ファイル情報表示エリア
7. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間など
8. 前へ/早戻しキー
タッチする: 前のファイルへ
タッチし続ける: 早戻し
9. ショートカット表示キー
10. プレイ/ポーズキー
11. リピートキー
全リピート / 1トラックリピート / 1フォルダリピートの切替

12. ランダムキー
ランダムオン / オフの切り替え
13. 次へ/早送りキー
タッチする: 次のファイルへ
タッチし続ける: 早送り
14. ファイルリスト
15. リスト切替キー
リスト表示アイテムが2ページ以上ある時に表示されます。
16. フォルダ選択
上位のフォルダ/ファイルを表示します。
17. カテゴリーリスト(オーディオのみ)



USBモード設定メニュー

18. 設定キー
設定メニューを閉じる
19. [サーチ] 項目
ダイレクト検索
20. [スキャン] 項目
スキャン再生の開始と停止の切り替え

USB動画メニューについて

USB動画メニューは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



USB動画メニュー画面

1. 再生ステータス
2. Bluetoothステータス
3. 時刻表示
4. ショートカット表示キー
5. 前へ/早戻しキー
タッチする: 前のファイルへ
タッチし続ける: 早戻し
6. プレイ/ポーズキー
7. 次へ/早送りキー
タッチする: 次のファイルへ
タッチし続ける: 早送り
8. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
9. ファイルリストモード表示キー
USB動画ファイルリストモードへ切り替え
10. リピートキー
全リピート / 1トラックリピート / 1フォルダリピートの切替

USBモード画面を使う

USBモード画面の操作方法について説明します。

■再生する/一時停止する

1. 再生中に一時停止するには、[II] キーをタッチします
2. 再生を再開するには、[▶] キーをタッチします

■前の/次のファイルに切り替える

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします

■早送り/早戻しをする

1. 再生中に、[◀◀]または[▶▶] キーをタッチし続けます
早戻し/早送りが開始します。
タッチし続けている間に再生速度は2倍から4倍、8倍、16倍になります。
タッチをやめると、通常の再生に戻ります。

MEMO

- ・早送り/早戻しを行っている間は、音が出ません。
- ・早送り/早戻しの速度は、ファイルによって異なる場合があります。

■シークバーでスキップする

1. 再生中に[シークバー]をドラッグする

再生を開始したい位置まで、シークバー上の丸 (●) をドラッグ (タッチしたままスライド) します

■リピート再生をする

USBメモリーに保存されたオーディオファイルを、以下の操作で繰り返し再生することができます。

初期設定では、1フォルダリピートが設定されています。

1. リピートキー (🔄) をタッチします

タッチするたびに1トラックリピート、1フォルダリピート、全リピートの順に切り替わります。

■ランダム再生をする

MEMO

ランダム再生は、USB動画では使用できません。

1. ランダムキー (🎲) をタッチします

ランダムがONになります。

もう一度タッチするとランダムがOFFになります。

2. オーディオファイルを再生するとランダム再生が開始されます。

■タグ情報表示エリアについて

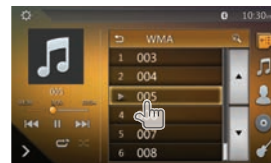
再生中の音楽ファイルにタグ情報がある場合、タグ情報が表示されます。

MEMO

- ・表示されるタグ情報は、「本機で再生できるファイル拡張子」(10ページ)をご覧ください。
- ・タグ情報の文字コードがUNICODEでない場合、Titleなどのタグ情報が正しく表示されません。

■リスト表示からファイルを選択する

1. ファイルリストから再生したいファイルをタッチします



タッチしたファイルを再生します。

MEMO

- ・リスト上のフォルダをタッチするとタッチしたフォルダ内のファイルリストが表示されます。
- ・再生したいファイルが表示されていないときは、リストを上下にドラッグ (タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。
- ・リスト上のBackキー (⏮) をタッチすると上の階層のフォルダへ移動します。

■トラック番号で再生する

再生中のフォルダのトラック番号を使用して、再生することができます。

1. USBモード設定メニューを表示し、[サーチ] 項目の[] キーにタッチします

10キー入力画面が表示されます。

2. 再生したいトラック番号を10キー([0]から[9])で入力します



入力した番号のファイルが再生されます。

- 入力したトラック番号がない場合、またはトラック番号による再生ができない場合、画面の表示内容は変更されません。
- 10キー入力画面を閉じる場合は、[Back] キーをタッチします。

■スキャン再生をする(オーディオのみ)

スキャン再生とは、ファイルの頭を10秒間ずつ順次再生する機能です。

目的のファイルを探すとき使用します。

MEMO

スキャン再生は、USB動画では使用できません。

1. USBモード設定メニューを表示し、[スキャン] 項目の[開始] キーをタッチします

直前に再生されていたファイルの次のファイルが10秒間再生され、引き続き以降のファイルが順次10秒間ずつ再生されます。

MEMO

キー表示が、[開始]から[中止]に切り替わります。

2. スキャン再生動作中のファイルを継続して再生するときは、[中止] キーをタッチします。

スキャン再生動作が解除され、現在のファイルが継続して再生します。

MEMO

スキャン再生動作が解除されると、キー表示は、[中止]から[開始]に切り替わります。

3. USBモード設定メニューを閉じます

iPod/iPhoneで観る・聴く

お知らせ

本機でiPod/iPhone音楽を再生するときは

- iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用し、本機と接続してください。または、Bluetoothで本機と接続してください。

本機でiPod/iPhoneビデオを再生するときは

- 別売のCCA-750-500ケーブルを使用し、本機と接続してください。
- ただし、Lightning™コネクタ搭載のiPod/iPhoneではビデオ再生はできません。
- 詳しくは、弊社Webサイト (<http://www.clarion.com/>) をご覧ください。

iPod/iPhone使用上の注意事項

- iPod/iPhoneのご使用に際しては、本書内に記載の注意事項をご覧になり正しくお使いください。
- iPod/iPhoneは、ヘッドホンをはずしてから本機に接続してください。
- iPod/iPhoneを接続した時のキー操作は、本機にて行ってください。一部のモデルではオーディオモード/ビデオモードともに、iPod/iPhone側でのキー操作ができない場合がございます。(シンプルモードを除く)
- iPodモードのときに、iPodを脱着しないでください。雑音が発生し、スピーカー破損の原因となる場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを外して再度接続してください。
- 車のエンジンを切った後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があります。バッテリーが消耗する恐れがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。
- 本機と接続可能なiPodに関しては、弊社Webサイト (<http://www.clarion.com/>) をご覧ください。
- 一部のiPod/iPhoneではビデオ再生ができない場合がございます。詳しくは、弊社Webサイト (<http://www.clarion.com/>) をご覧ください。
- iPod/iPhoneのバージョンによっては、再生できない場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- データがない場合、タイトル表示がブランクとなります。
- 走行中は、「画像は停車中にお楽しみください」と表示されます。
- iPod/iPhoneのステータスによっては、画像データが再生できない場合があります。
- iPodメニュー画面でトラックが含まれていないカテゴリーを選択しないでください。iPod/iPhoneがフリーズする場合があります。iPod/iPhoneがフリーズした場合は、iPod/iPhoneの取扱説明書に記載された手順でiPod/iPhoneをリセットしてください。
- 音声が終わりにビデオ映像とすれて再生される場合があります。

■バッテリーの準備について

iPod/iPhoneの内部バッテリーが低下している状態で本機にiPod/iPhoneを接続した場合、正常に動作しない場合があります。バッテリーが低下している場合は、充電してから接続してください。

MEMO

iPod/iPhoneの接続

MEMO

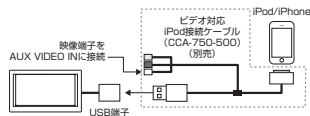
- iPod/iPhoneの接続を行う前に、iPod/iPhoneの言語設定を「日本語」にしてください。他の言語が設定されている場合、本機で正しく表示されない場合があります。
- iPod/iPhoneを接続している場合にはUSB Audio/Videoは使用できません。

■ iPod/iPhoneを接続するには

● Dockコネクタ搭載機

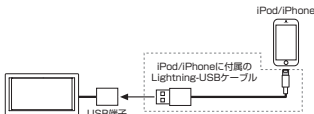
別売のビデオ対応iPodケーブル(CCA-750-500)を本機のUSB端子に接続します

ビデオを見るためには、映像端子をAUX VIDEO INに接続します。



● Lightningコネクタ搭載機

iPod/iPhoneに付属のケーブルを本機のUSB端子に接続します



■ iPod/iPhoneをBluetoothで接続する

1. はじめてBluetoothを利用するときは、本機に登録(ペアリング)します「ペアリング」(33ページ)

MEMO

Bluetooth接続機器の種類選択で[iPhone]を選んでください



■ iPod/iPhoneを取り外すには

1. メインメニュー画面で[iPod Audio]/[iPod Video] アイコン以外を選択もしくは電源を切ります

⚠ 注意

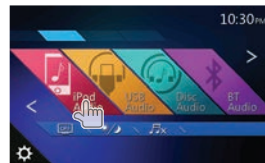
iPod音楽/動画モード画面表示に、iPod/iPhoneを取り外すとデータが損傷場合があります。

2. iPod/iPhoneを取り外します

iPodを再生する

■ オーディオの再生

1. iPod/iPhoneに付属のケーブルを経由して、USBケーブルに接続します
2. メインメニュー画面の[iPod Audio] アイコンをタッチします



iPod音楽モードに切り替わります。

iPod音楽モードに切り替えると、前回の再生位置から再生が開始されます。

■ ビデオの再生

1. iPod/iPhoneを別売のCCA-750-500ケーブル経由でUSBケーブルに接続します
自動的にデバイスを識別し、メインメニュー画面の[iPod Video] アイコンが使用可能となります。
2. メインメニュー画面の[iPod Video] アイコンをタッチします

iPod動画モードに切り替わります。

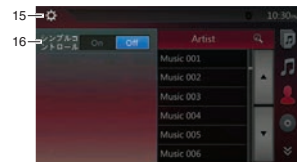
iPod動画モードに切り替えると、ビデオの再生が開始されます。

iPod画面について



iPodモード画面

1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. Bluetoothステータス
4. 時刻表示
5. アルバムアートワーク
6. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
7. 前へキー
前のトラックへ
8. ショートカット表示キー
9. プレイ/ポーズキー
10. リピートキー
全リピート / リピートオフ / 1トラックリピートの切り替え
11. シャッフルキー
シャッフルオン / オフの切り替え
12. 次へキー
次のトラックへ
13. タイトル情報表示エリア
14. カテゴリーリスト



iPodモード設定メニュー

15. 設定キー
設定メニューを閉じる

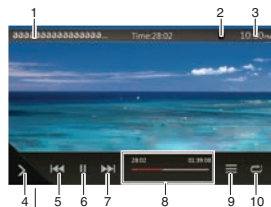
16. [シンプルコントロール] 項目

[On]を選択するとシンプルコントロールモードが設定され、シンプルコントロール画面が表示されます。

iPod動画メニューについて

iPodのビデオ再生時に画面をタッチするとiPod動画メニューが表示されます。

iPod動画メニューは、しばらく操作しないと自動で閉じます。



iPod動画メニュー画面

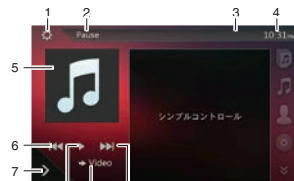
1. 再生ステータス
2. Bluetoothステータス
3. 時刻表示
4. ショートカット表示キー
5. 前へキー
前のトラックへ
6. プレイ/ポーズキー
7. 次へキー
次のトラックへ
8. 再生経過時間/シークバー/再生所要時間
9. ファイリストモード表示キー
iPod動画ファイリストモードへ切り替え
10. リピートキー
全リピート/リピートオフ/1トラックリピートの切り替え

「iPod動画メニュー」の操作は、「USBメモリーで観る・聴く」(27ページ)をご覧ください。

iPodシンプルコントロールモード画面について

[シンプルコントロール] 項目をOnにするとiPodシンプルコントロールモード画面が表示されます。

iPodシンプルコントロールモード画面での操作は、前のトラック、プレイ/ポーズ、次のトラックのみ行えます。



iPodシンプルコントロールモード画面

1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. Bluetoothステータス
4. 時刻表示
5. アルバムアートワーク表示
6. 前へキー
前のトラックへ
7. ショートカット表示キー
8. プレイ/ポーズキー
9. [Video] キー
このキーをタッチした後、iPod/iPhoneで[iPod Video Settings TV Out]を[On]に設定し、iPodでビデオデータを再生すると、iPod/iPhoneビデオが本機の画面上で再生されます。
10. 次へキー
次のトラックへ

MEMO

本機でiPod/iPhoneビデオを再生するには、別売のCCA-750-500ケーブルが必要です。

Siri Eyes Free機能を使う

Siri Eyes Freeは、iPhoneと本機をBluetoothで接続し、車載のマイクとスピーカーによって、音声アシスタント機能[Siri]を利用する機能です。Siri Eyes Free機能により、iPhoneを手で操作することなく運転中も安全にSiriを利用できます。Siriとは、iPhoneを音声で操作できる機能です。

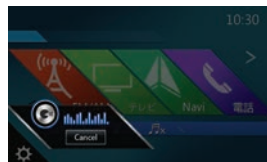
Siri Eyes Free, SiriはiPhone 6 Plus, iPhone 6, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4sでご利用になります。また、iOS 6.1以降をご利用ください。

MEMO

- Siri Eyes Free機能を利用するには、別売のナビ用版マイク(RCB-204-500)を使用してください。
- iPhoneを本機に登録(ペアリング)します。「ペアリング」(33ページ) Bluetooth接続機器の種類選択では、[iPhone]を選んでください。
- iPhoneでSiriの設定をONにしてください。詳しくはiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

1. [VOICE] ボタンを押し続けます

ポップアップメニューが現れてSiriの起動音が聞こえたら音声認識を開始できます。



2. マイクに向かって発話してiPhoneを操作します

Siriの使用法はiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

3. Siriを終了したいときは、[VOICE] ボタンを押し続ける、または[Cancel] キーをタッチしてください
Siriの起動中に再度発話したい場合は、[] キーをタッチしてください。

MEMO

- 走行中などの使用状況によっては、iPhoneが音声を認識できない場合があります。
例: 高速走行時や窓が閉まっている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境の場合
- 携帯電話の電波が届きにくいところでは、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- Siri起動中であっても、iPhone側の動作状態によっては、Siriが適切に機能しなかったり、Siriモードが終了してしまうことがあります。
- Siri機能を使ってiPhoneのオーディオを再生する場合は、事前にiPodモードに切り替えてからお使いください。

Bluetoothを使う

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうして通信を行います。

本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。

Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

Bluetooth使用上の注意事項

Bluetoothのご使用に際しては、「安全にお使いいただくために」（5ページ）、「使用上のご注意」（6ページ）および本書内に記載の注意事項をご覧ください。

MEMO

- ・本機は、一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは正しく操作や、再生ができない場合があります。
- ・クラリオンでは、本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

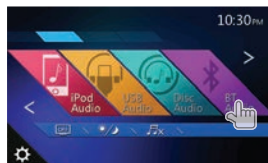
ペアリング

はじめてBluetooth対応携帯電話およびオーディオ機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。以下の手順でペアリングしてから操作してください。

1. 設定画面のBluetooth項目（38ページ）で本機のBluetooth機能をオンにします

2. 登録するBluetooth対応携帯電話およびオーディオ機器（以下対応デバイス）の電源を入れ、Bluetooth機能をオンにします

3. メインメニュー画面で[BT Audio] アイコンをタッチします

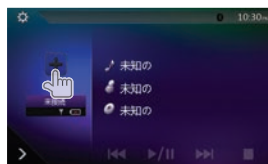


Bluetoothオーディオモード画面が表示されます。

MEMO

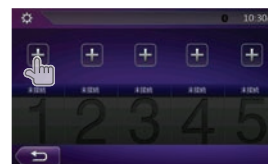
- ・メインメニュー画面で[電話] アイコンをタッチしても、以下同様の操作でペアリングできます。
- ・設定全般メニューのBT Device からでもペアリングできます。（38ページ）

4. [] にタッチします



Bluetoothデバイス選択画面が表示されます。

5. プラスマーク[+]にタッチします



Bluetoothがオンの対応デバイスを検索し、見つかったペアリングリストに表示します。

6. ペアリングリストから、登録する対応デバイスをタッチし、[接続] キーをタッチします

パスキー入力画面が表示されます。

7. 4桁のパスキーを入力し、[決定] キーをタップします

画面に「ペアリング「デバイス名」と表示され対応デバイスのパスキー入力待ちになります。

8. 登録する対応デバイスにパスキー入力画面が表示された場合は、前の手順で設定したパスキーを入力し、接続します

しばらく待つと「Bluetooth機器と接続しました」と画面に表示されます。

9. [OK] キーをタッチします

ペアリングが成功すると、画面の右上のインジケータ [] が白色になります。

ペアリングした対応デバイスにお気に入りのアイコンを設定する画面が表示されます。

設定できるアイコンは、10種類です。左右にドラッグ（タッチしたままスライド）すると表示を切り替えられます。

10. 気に入ったアイコンをタッチし、[決定] キーをタッチします

11. 接続機器の種類を選び[決定]キーをタッチします

[iPhone][Android][Other]から選んでください。



対応デバイスにアイコンが設定され、Bluetoothデバイス選択画面が表示されます。

MEMO

- ・携帯電話の機種によっては、パスコードの入力が必要になります。その場合は、パスコードキーを入力します。
- ・また機種によっては、本機に入力したパスキーと携帯電話側のパスキーとが同一かを確認する画面が表示されます。その場合は、画面にしたがって操作してください。
- ・パスコードの初期設定は「1234」です
- ・ペアリング後、デバイス名、Bluetooth信号の強さ、バッテリー残量などの携帯デバイス情報が画面の左に表示されます。
- ・本機では、最大5台まで登録することができます。

Bluetoothデバイスを接続する

1. 「ペアリング」(33ページ)同様に手順4まで進めます

Bluetoothデバイス選択画面が表示されます。

2. 使用するデバイスをタッチし、[接続] キーをタッチします

MEMO

キーをタッチすると、ペアリングされたデバイスをペアリングリストから削除できます。

接続されているBluetoothデバイスを切り替える

1. 接続しているデバイスの[切断] キーをタッチし、接続を解除します
デバイスが切断されます。
2. 切り替えたいデバイスをタッチし、[接続] キーをタッチします

Bluetoothオーディオを再生する

■オーディオストリーミングの操作

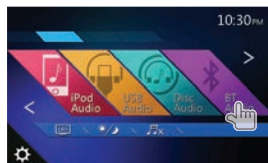
- ・オーディオストリーミングとは

オーディオストリーミングとは、安定した、かつ連続した流れで処理できるようにオーディオデータを転送する技術です。外部のオーディオプレーヤーからカーステレオにワイヤレスで音楽をストリーミングし、車のスピーカーで曲を聴くことができます。

MEMO

- ・オーディオストリーミングの操作を行うには、ペアリングが必要です。
- ・ペアリングについては、「ペアリング」(33ページ)をご覧ください。

1. メインメニュー画面の[Bluetooth Audio] アイコンをタッチします



Bluetooth音楽モードになります。

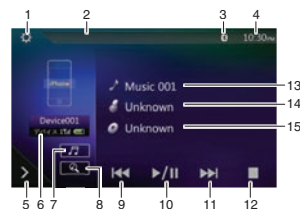
操作方法は、「Bluetooth音楽モード画面を使う」(35ページ)を参照してください。

MEMO

- ・オーディオストリーミング中に、接続済みの携帯電話を操作しないでください。曲の再生中にノイズが発生したり、音が途切れたりすることがあります。
- ・オーディオストリーミングは、電話の割り込み後に再開することもあり、しないこともあります。これは、携帯電話によって異なります。

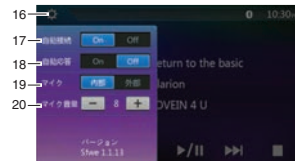
Bluetooth音楽モード画面について

Bluetooth音楽モードになると、Bluetooth音楽モード画面が表示されます。ペアリングしたデバイスの操作ができます。



Bluetooth音楽モード画面

1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. Bluetoothステータス
4. 時刻表示
5. ショートカット表示キー
6. 接続デバイス名
7. トラックリスト
リストから探して再生できます。(BluetoothプロファイルAVRCP Ver1.4に対応した機器のみ表示)
8. ブラウズ表示
フォルダーやカテゴリーから探して再生できます。(BluetoothプロファイルAVRCP Ver1.4に対応した機器のみ表示)
9. 前のトラックキー
タッチする: 前のトラック
10. プレイ/ポーズキー
11. 次のトラックキー
タッチする: 次のトラック
12. 停止キー
13. Title
14. Artist
15. Album



Bluetooth音楽モード設定メニュー

16. 設定キー
設定メニューを閉じる
17. [自動接続] 項目
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機は自動的に電話への再接続を実行します。
初期設定は[On]です。
18. [自動応答] 項目
着信の5秒後に自動応答を行うことができます。
初期設定は[Off]です。
19. [マイク] 項目
本機内蔵の内部マイクの使用、外部マイク(別売)の使用を選びます。
初期設定は、「内部」です。
20. [マイク音量] 項目
マイクの入力レベルを16段階で調整することができます。
初期設定は内部マイク10、外部マイク8です。

MEMO

マイクの入力レベルは周囲環境の影響を受けることがあります。通話相手の受話に問題がある場合は入力レベルを調整してください。

Bluetooth音楽モード画面を使う

Bluetooth音楽モード画面の操作方法について説明します。

■ 再生/一時停止する

1. 再生中に一時停止する場合は、[▶/⏸] キーをタッチします
2. 再生を再開する場合は、[▶/⏸] キーをタッチします

■ 前の/次のトラックを切り替える

1. 再生中に[◀◀]または[▶▶] キーをタッチします

■ 再生を停止する

1. [■] キーをタッチすると再生が停止します

MEMO

- 再生の順番は、Bluetoothオーディオプレーヤーによって異なります。[▶▶] キーをタッチすると、再生された時間によっては、一部のA2DPデバイスでは現在のトラックをもう1度再生しなおします。
- 一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは、本機と再生/停止を同期できないことがあります。デバイスとメインユニットが、Bluetoothオーディオモードで同じ再生/停止ステータスであることを確認してください。

Bluetooth接続で携帯電話を使う

携帯電話を接続し、電話機をハンズフリー操作する画面を開く手順を説明します。

1. 「Bluetoothデバイスを接続する」(34ページ)の手順をご覧になり、携帯電話を接続します
2. メインメニュー画面の[電話] アイコンをタッチします

電話モードになります。

Bluetooth接続した電話機のハンズフリー画面(電話モード画面)を表示します。

電話モード画面について

電話モードになると、電話ハンズフリー画面(電話モード画面)が表示されます。



電話モード(番号入力)画面

1. 設定キー
設定メニューを開く
2. 再生ステータス
3. 電話番号入力欄
4. Bluetoothステータス
5. 時刻表示
6. ショートカット表示キー
7. 接続デバイス名
8. 10キーパッド
9. [発信]/[終話] キー
10. [番号入力] キー
11. [発信履歴] キー
12. [着信履歴] キー
13. [不在着信] キー
14. [電話帳] キー



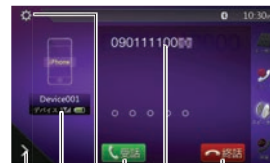
電話モード設定メニュー

15. 設定キー
設定メニューを閉じる

16. [自動接続] 項目
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機は自動的に電話への再接続を実行します。
初期設定は[On]です。
17. [自動応答] 項目
着信の3秒後に自動応答を行うことができます。
初期設定は[Off]です。
18. [マイク] 項目
本機内蔵の内部マイクの使用、外部マイク(別売)の使用を選びます。
初期設定は、[内部]です。
19. [マイク音量] 項目
マイクの入力レベルを16段階で調整することができます。
初期設定は内部マイク10、外部マイク8です。

MEMO

マイクの入力レベルは周囲環境の影響を受けることがあります。通話相手の受話に問題がある場合は入力レベルを調整してください。



着信画面

20. ショートカット表示キー
21. デバイス名
設定メニューを開く
23. [受話] キー
24. 着信電話番号
着信番号が表示されます。
アドレス帳に登録すると、登録名が表示されます。
25. [終話] キー

電話をかける

電話モード画面の操作方法について説明します。

■ アドレス帳データを取得する

携帯電話のアドレス帳データを取得して、本機のアドレス帳機能を使用して発信ができます。

1. 「Bluetoothデバイスを接続する」(34ページ)の手順をご覧になり、携帯電話を接続します

接続した携帯電話のアドレス帳が、携帯電話のPBAP機能により本機側に自動的に読み込まれます。

詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

- ・携帯電話によっては、アドレス帳転送ができません。
- ・一部の携帯電話では、携帯電話側でアドレス帳転送を許可する必要があります。電話機接続の際、携帯電話の取扱説明書をご覧になり設定を行ってください。

■ 番号をダイヤルし発信する

△ 注意

走行中、運転者は電話をかけないでください。電話をかける場合は、車を安全な場所に停車してから行ってください。

1. 画面の10キーを使って番号を入力します

2. [発信] キーをタッチします

ダイヤルされます。

MEMO

- ・入力を間違えた場合は、[修正] キーをタッチすると文字が削除されます。
- ・一部の携帯電話では、プライベートモードに移行するときに、電話割り込み画面が閉じられ、本機との接続が切断される場合があります。

3. [終話] キーをタッチします

通話が終了します。

■ 発信/着信/不在着信履歴から発信する

発信/不在/着信履歴を検索できます。



1. [発信履歴]、[着信履歴]/[不在着信] キーをタッチします

選択した内容の履歴リストが表示されます。

MEMO

- ・履歴がない場合は、リストに何も表示されません。
- ・履歴が隠れて表示されていないときは、リストを上下にドラッグ(タッチしたままスライド)、もしくは右側の[▼]または[▲] キーをタッチしリストを切り替えます。

2. ダイヤルしたい相手先をタッチします

3. 番号を確認して [発信] キーをタッチします

ダイヤルされます。

MEMO

[Back] キーをタッチすると前の画面に戻ります。

■ 電話帳から発信する

電話帳の連絡先の名前を検索して発信できます。

1. [電話帳] キーをタッチします

選択した名称に登録されている電話番号が表示されます。

MEMO

最初に電話帳を同期する際、数分かかることがあります。

2. ダイヤルしたい番号をタッチします

3. 番号を確認して [発信] キーをタッチします

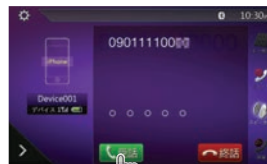
ダイヤルされます。

MEMO

- ・[Back] キーをタッチすると前の画面に戻ります。
- ・一部の携帯電話からは、電話帳データを転送できない場合があります。接続可能な携帯電話の情報については、クラリオンのホームページをご覧ください。

電話を受ける(着信に応答する)

1. [発信] キーをタッチします



着信に応答できます。

2. [終話] キーをタッチします

着信を拒否できます。

AUX・リアモニターを使う

オーディオ、ゲーム、ビデオカメラ、iPod/iPhoneなどの外部機器を使用することができます。

⚠ 警告

- 運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見られます。走行中は、音声だけ聴けます。

⚠ 注意

接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

AUXへの外部機器の接続

■ AUX入力端子の接続

AUX入力端子へ接続は、本機取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。正しく接続してください。

AUXに接続した外部機器を使う

1. メインメニュー画面の[AUX] アイコンをタッチします

AUXモードに切り替わり、外部機器の映像と音声が出力されます。

2. メインメニュー画面に戻るには、操作パネルの[メニュー] ボタンを押します

MEMO

- 接続された外部機器を本機から操作することはできません。
- iPod/iPhoneを別売のCCA-750-500ケーブルで接続している場合にはAUXは使用できません。
- 車両のシガーライターに電源アダプターなどで電源を供給しながら外部機器を使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。

リアモニターを使う(別売)

別売のリアモニターを本機のビデオ出力端子に接続すると、本機で再生したDVD、iPod/iPhoneの動画、AUX入力映像と同じ映像をリアモニターで見ることができます。接続方法は取付説明書を参照ください。

MEMO

- ナビゲーション画面、USBメモリの動画再生映像、テレビの映像はリアモニターで見ることができません。
- iPod/iPhoneの動画を見るためには、別売のCCA-750-500ケーブルを使用してください。ただし、Lightningコネクタ搭載のiPod/iPhoneではビデオ再生はできません。

カメラを使う

別売の後方確認カラーカメラを接続すると、車の後方をモニターで見られます。後方確認カラーカメラは、ご購入先にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠ 警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

⚠ 注意

- リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

■ リアカメラ使用上のご注意

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間、または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

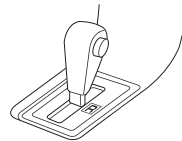
リアカメラ(別売)の接続

リアカメラの接続は、本機取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。正しく接続してください。

リアカメラ(別売)を使う

■ リアカメラの映像を表示する

- エンジンをかける
- シフトレバーをR(リバース)にする



リアカメラの映像に切り替わります。

オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。



MEMO

- 本機起動中のシフトレバー操作のタイミングによっては、画面の切り替わりや、ナビゲーションの起動に遅れが生じることがあります。
- 本機はカメラ映像に、ガイドライン描画・車幅描画などは表示できません。

設定画面

設定画面は、次の手順で開きます。

1. メインメニュー画面の[設定] キーをタッチします



設定メニューが表示されます。

2. 画面左の全般 (ⓘ)、ビデオ (📺)、オーディオ (🔊)、ナビゲーション (📍)、その他 (⋮) の設定メニューキーをタッチし、それぞれの設定行きます

3. 設定メニューを終了するには、画面の左上の [戻る] キーをタッチします。

全般設定メニュー

このメニューには、言語切替、ショートカット、時間、24時間表示、操作音、Bluetooth、BTデバイス、壁紙、イルミ色、AUX入力感度、アニメーション効果、電話音声出力、バージョンがあります。



■言語切替

表示言語を[English]/[日本語]/[簡体中文]/[繁体中文]から設定します。

初期設定は[日本語]です。

■ショートカット

ショートカットを設定します。



下段の一行がショートカットに設定されたアイコンです。

上段のアイコンをドラッグ(タッチしたままスライド)し、下段のアイコンに重ねると入れ替わります。

初期設定は[FM/AM] アイコン、[USB AUDIO] アイコン、[Disc Audio] アイコン、[iPod AUDIO] アイコン、[電話] アイコンです。

■時間

時刻・AM/PMを設定します。

ナビゲーション設定メニューの[GPS時間同期]が[On]の場合、使用できません。

[時間] 項目の右のキーをタッチすると時間設定メニューが表示されます。



●時刻設定

[▲] キーまたは[▼] キーをタッチして時間、分またはAM/PMを選択します。[セット] キーをタッチして確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

AM/PMの設定は、時間表示モードが12時間モードの場合、設定できます。

●AM/PM

現在の時間表示モードが12時間モードの場合、[AM]/[PM]を設定します。
ナビゲーション設定メニューの[GPS時間同期]が[On]の場合、使用できません。

■24時間表示(時間表示モード)

時間表示モードを設定します。[12時間]/[24時間]を選択します。

初期設定は[12時間]です。

■操作音

キーの操作音の[On]/[Off]を設定します。

初期設定は[On]です。

■Bluetooth

Bluetooth機能の[On]/[Off]を設定します。

初期設定は[On]です。

■BTデバイス

Bluetooth対応機器の登録、切り替え、消去が行えます。

■壁紙

壁紙を設定します。

[壁紙] 項目右のキーをタッチすると、壁紙設定メニューが表示されます。



[Image1]~[Image8]のリストから選択します。

リストの項目をタッチするとプレビューが表示されます。

[イルミ色]を選ぶと「イルミ色」で設定したカラーの壁紙になります。

リストは、[▲]または[▼] キーをタッチするかドラッグ(タッチしたままスライド)し、表示を切り替えます。お好みの画像を壁紙にできます。画像の入ったUSBメモリーを接続し、ユーザー壁紙1から3のいずれかを指定した後に、[取り込む]をタッチします。設定できる画像は、JPG形式のみ、画像サイズ5MB以下です。

[決定] キーをタッチして設定を確定するか[戻る] キーをタッチして保存せずに終了します。

初期設定は[Image1]です。

■イルミ色

操作ボタンのイルミネーションカラーの設定をします。



●[自動変更]

1-12の色をランダムで表示します。

●【色変更】

1-12のお好み色を選べます。番号をタッチして、**【色変更】**キーをタッチして設定します。

自由に色を作り**【調整色1】**キーから**【調整色3】**キーに設定することもできます。

●【初期設定】

初期設定に戻します。初期設定は、**【1】**です。

●色変更機能を使う

【色変更】キーをタッチし、**【調整色1】**キーまたは、**【調整色2】****【調整色3】**キーを選び、**【調整】**キーをタッチします。



パレット部の色にタッチします。

プレビュー部にタッチした色とR、G、Bに数値を表示します。

R、G、Bの**◀▶**キーをタッチしても調整もできます。

設定するには、**【OK】**キーをタッチします。

中止するときは、**【中止】**キーをタッチします。

■AUX入力感度

AUXデバイスの入力感度を**【低】**/**【中】**/**【高】**から設定します。

初期設定は**【中】**です。

■アニメーション効果

メインメニューのアイコンをアニメーション表示、静止画表示などを**【On】**/**【Off】**で設定します。

初期設定は**【On】**です。

■電話音声出力

電話モードでのスピーカーを**【左】**/**【右】**から設定します。

初期設定は**【左】**です。

■バージョン

ソフトウェアバージョン情報を表示します。

ビデオ設定メニュー

このメニューには、ワイドスクリーン、明るさ、ディマーがあります。



■ワイドスクリーン

DVDワイドスクリーンモードの**【On】**/**【Off】**を設定します。

初期設定は**【Off】**です。

■明るさ

明るさを**【0】**～**【20】**の間で設定します。

明るさは、下記のディマーで**【昼】**または**【夜】**を選択すると設定できます。

初期設定はディマーが**【昼】**のとき**【20】**、**【夜】**のとき**【10】**です。

■ディマー

調光モードを**【自動】**/**【昼】**/**【夜】**から設定します。

【自動】：調光は車のイルミネーションに連動し、**【昼】**または**【夜】**モードに切り替わります。

初期設定は**【自動】**です。

オーディオ設定メニュー

このメニューには、Balance、Fader、Beat EQ、Magna Bass EXがあります。



■Balance

左右のスピーカーの音量バランスを**【L9】**～**【0】**～**【R9】**の間で設定します。

初期設定は**【0】**です。

■Fader

フロント/リアのスピーカーの音量バランスを**【R9】**～**【0】**～**【F9】**の間で設定します。

初期設定は**【0】**です。

■Beat EQ

イコライザーのモードを**【Bass Boost】**(低音を強調)/**【Impact】**(低音と高音を強調)/**【Excite】**(低音と高音をImpactよりさらに強調)/**【Custom】**(音質をきめ細かく設定します)/**【Off】**(オフ)から設定します。

【Select EQ】項目右のキーをタッチし、表示される画面で、細かな値を調整します。

初期設定は**【Off】**です。

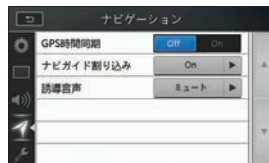
■Magna Bass EX

ラウドネスの**【On】**/**【Off】**を設定します。

初期設定は**【Off】**です。

ナビゲーション設定メニュー

このメニューには、GPS時間同期、ナビガイド割り込み、誘導音声があります。



■GPS時間同期

システムの時刻設定をGPS時刻と同期させるかどうかを設定します。

【On】の場合、時刻設定が自動になるため、全般設定メニューの**【時間】**、**【AM/PM】**の設定を使用できません。

初期設定は**【On】**です。

■ナビガイド割り込み

ナビゲーションの割り込みを**【On】**/**【ポップアップ】**/**【Off】**から設定します。

On	誘導案内地点でナビゲーション画面がAV画面に優先して表示されます。
ポップアップ	誘導地点でAV画面上にポップアップ表示されます。
Off	この機能をオフにします。

初期設定は**【On】**です。

案内情報表示について

ルート案内中に、画面上部に次に案内する施設の名称、曲が方向などを表示することができます。

1. ルート案内中に、AV画面の**【ナビ】**をタッチします。



2. 誘導案内地点になると画面上部に案内情報を表示できます。案内情報表示をやめるときは、**【ナビ】**をタッチします。



MEMO

- ナビゲーションでルート案内していないときは表示できません。
- ルート案内中なら、ナビゲーション設定メニューのナビガイド割り込みの設定にかかわらず表示することができます。

■ 誘導音声

ナビゲーションの音声案内を[On]/[ミュート]/[Off]から設定します。

On	音声ガイドの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変わりません)です。
ミュート	音声ガイドの割り込み機能がオンになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオン(音量がミュートされます)になります。
Off	音声ガイドの割り込み機能がオフになります。割り込み中のAVサウンドの音量低減機能はオフ(音量は変わりません)です。

初期設定は[ミュート]です。

■ 音声案内の音量設定

ナビ画面が表示されている状態で、画面左下の[MENU]から以下の順にタッチします。
[MENU]→[設定]→[環境設定]画面で[- VOL +]ボタンを操作して設定します。

■ その他設定メニュー

このメニューには、パレンタルパスワード、パレンタルコントロール、DVD音声、DVD字幕、盗難防止イルミ、タッチパネル調整、出荷状態に戻すがあります。



■ パレンタルパスワード

DVDのパレンタルレベル設定のためのパスワードを設定します。

初期設定は[0000]です。

MEMO

視聴制限が設定されたディスクを再生するときにパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合、正しいパスワードを入力しないと再生は開始されません。

■ パレンタルコントロール

視聴年齢制限レベルを[Kid Safe]/[G]/[PG]/[PG-13]/[PG-R]/[R]/[NC-17]/[Adult]から設定します。

設定には、パレンタルパスワードが必要です。

パレンタルレベルの制限内容は、国(カントリーコード)によって異なります。

Kid Safe	子ども向け
G	一般向け
PG	保護者の手引きが必要
PG-13	保護者の厳重な注意が必要
PG-R	保護者の制限が必要
R	保護者の同伴が必要
NC-17	17歳未満は鑑賞禁止
Adult	成人向け

初期設定は[Adult]です。

■ DVD音声

DVDの音声言語を[英語]/[フランス語]/[スペイン語]/[中国語]/[日本語]/[AUTO]から設定します。

初期設定は[日本語]です。

■ DVD字幕

DVDの字幕言語を[英語]/[フランス語]/[スペイン語]/[中国語]/[日本語]/[AUTO]/[OFF]から設定します。

初期設定は[OFF]です。

■ 盗難防止イルミ

ACCがオフのときに操作パネル内の盗難防止LEDを点滅させて、盗難を抑制します。

[On]:ACCがオフのときに盗難防止LEDが点滅します。

[Off]:点滅しません。

初期設定は[Off]です。

■ タッチパネル調整

出荷状態で、タッチパネルの座標位置は正しく調整されていますので通常は調整不要です。座標位置が正しくない場合にのみ再調整を行います。

MEMO

タッチパネル調整中は、本体の電源OFFができません。

■ 出荷状態に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

MEMO

盗難防止パスワードを設定されている場合はデータ初期化できません。「盗難防止パスワードの解除」(40ページ)を行ってください。

盗難防止

■ 盗難防止パスワードの設定

盗難防止パスワードを設定できます。正常に設定した後は、バッテリー線を再接続した際に、盗難防止パスワードを入力しなくてはならなくなります。

1. 設定画面の全般メニューキー([G])を、タッチし続けます

設定確認画面が表示されます。

2. [実行] キーをタッチします

パスワード設定画面が表示されます。

3. 4桁のコードを入力し、[OK] キーをタッチして確定します

パスワード再入力画面が表示されます。

4. もう一度パスワードを入力し、[OK]キーをタッチします。

「パスワードを設定しました」と表示後、全般設定画面に戻り、パスワードが登録されます。

MEMO

間違ったパスワードが3回連続入力されると、本機はロックされます。

お願い

- 盗難防止パスワードは忘れないようにメモをしておいてください。正しいコードを入力しないと、本機を操作することができなくなります。
- 盗難防止パスワードを忘れたときは、「盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら」(43ページ)をご覧ください

■ 盗難防止パスワードの解除

1. 設定画面の全般メニューキー([G])を、タッチし続けます

盗難防止用パスワード消去画面が表示されます。

2. [実行] キーをタッチします

パスワード設定画面が表示されます。

3. 4桁のコードを入力し、[OK] キーをタッチします。

「パスワードを消去しました」と表示後、全般設定画面に戻り、パスワードが解除されます。

故障かなと思ったら

次のような症状のときには故障でないことがあります。修理を依頼される前に対処方法にしたい処置してください。それでも解決されない場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。 音が出ない。	ヒューズが切れている。	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	配線が正しくない。	取付説明書をご覧ください正しく配線してください。
ボタンを押しても動作しない。 またはディスプレイが正確に表示されない。	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している。	リセットボタンを細い棒などで押してください。 注意： * リセットボタンを押すと、放送局の周波数やオーディオの設定などが消去されます。

■ テレビ・ビデオ

症状	考えられる原因	対処方法
音声は出るが、映像が出ない。	パーキングブレーキがかかっている。走行中は、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧ください正しくリード線を接続してください。
画面が暗い。	明るさ調整が不適切。	明るさまたはディマーを調整してください。
	車両のライトが点灯している。	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。（昼間でも、車両のライトを点灯すると、画面は暗くなります）
「B-CASカードを確認してください」と表示される	mini B-CASカードが挿入されていない	mini B-CASカードをスロットに正しく（力強く音がするまで）挿入してください。（mini B-CASカードのセット）（17ページ）
	mini B-CASカードが裏返しに挿入されている。	「mini B-CASカードのセット」（17ページ）をご覧ください。
テレビが映らない。	テレビアンテナが正しく接続されていない。	テレビアンテナの取付説明書をご覧くださいテレビアンテナを正しく接続してください。
	チャンネル設定が地域に合っていない。	都道府県を越えて地域を移動したときは、チャンネルスキャンを行い、その地域に合ったチャンネルに設定してください。
画面に赤、緑、青の点がある。	-----	故障ではなく、液晶パネル特有の現象です。（液晶パネルは非常に精密度の高い技術で製造されており、0.01以下の画素欠落、常時点灯がございます。）

■ DVD・CDプレーヤー

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクが入らない。	本機の中にディスクが入っている。	すでに入っているディスクを取り出して、新しいディスクを入れてください。
	ディスク挿入口に異物が入っている。	異物を取り除いてください。それでもディスクが入らない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	輸送用固定ビスがついたままになっている。	輸送用固定ビスを外して下さい
音が出ない。	ディスクを裏表逆に入れている。	ディスクの印刷面を上に入れてください。
音とびする。 ノイズが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。「ディスクのお手入れ」（8ページ）をご覧ください。
	ディスクに大きい傷やソリがある。	傷やソリのないディスクに交換してください。
電源を入れた直後の音質が悪い。	本体内部のピックアップレンズに水滴が付いている	電源を入れた状態にして約1時間乾燥させてください。
ビデオ映像が表示されない。	パーキングブレーキがかかっている。走行中には、安全のため映像は表示されません。	車を停車させ、パーキングブレーキをかけてください。
	パーキングブレーキのリード線が接続されていない。	取付説明書をご覧ください正しくリード線を接続してください。
"PARENTAL VIOLATION"と表示されてディスクが再生できない。（表示するメッセージは、ディスクにより異なります。）	設定されたパレンタルレベルにより視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除してください。またはレベルを変更してください。 パレンタルコントロール(40ページ)をご覧ください。

■ Bluetooth

症状	考えられる原因	対処方法
ペアリングができない。	デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていない。	他のデバイスを接続してください。
	デバイスのBluetooth機能が有効になっていない。	デバイスの取扱説明書に記載された手順でBluetooth機能を有効にしてください。
	本機のBluetooth機能がOnになっていない。	本機のBluetoothをOnにしてください。「Bluetooth」（38ページ）をご覧ください。
Bluetooth対応デバイス接続後に音質が悪くなった。	Bluetooth通信の状態が悪い。	デバイスを本機の近くに移動するか、デバイスと本機との障害物を取り除いてください。

■ ナビゲーション

症状	考えられる原因	対処方法
自車位置がずれている。	GPSアンテナ付近に電子機器等がある。	レーダー探知機等の電子機器がある場合、GPSアンテナから電子機器を離し、影響が出ないところに設置してください。
GPS受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。 障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。 フェリーなどで大幅に移動した。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書を参照してください） 障害物など*がなくなれば受信できます。 ※ 上空にある障害物、周辺の高いビルなど 走行することにより表示されるようになります。
メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため、操作禁止キーは表示されません。	車を安全な場所に停車させてください。禁止キーが表示されます。
地図画面が乱れる。	電氣的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
電源投入直後、画面が暗く見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	そのまま使用してください。バックライトが温まれば解消されます。
音声案内が出ない。	誘導音声、「OFF」に設定されている。	誘導音声の設定を「ON」にしてください。「誘導音声」(40ページ)をご覧ください。

■ リアカメラ

症状	考えられる原因	対処方法
カメラ映像が表示されない。	車両ギアがバックになっていない。 カメラが正しく接続されていない。 バック信号の接続が間違っている。	セレクトレバーがPの位置になっているか確認してください。 カメラが正しく接続されている。 取付説明書をご覧ください。カメラを正しく接続してください。 取付説明書をご覧ください。バック信号を正しく接続してください。
カメラ映像の映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
「ビデオ信号がありません」の画像が表示される。	カメラが正しく接続されていない。 正常なビデオ信号が「カメラライン」ケーブルに接続されていない。 カメラを接続していないのに、バック信号線を接続している。	カメラの取付・取扱説明書、本機の取付説明書の「結線のしかた」をご覧ください。カメラ、本機を正しく接続してください。 カメラによっては映像が正しく表示されない場合があります。本機の取付説明書に記載されている、弊社推奨のカメラをご使用いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。 バック信号線をどこにも接続しない。

■ USBメモリー・iPod/iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
USBメモリーが挿入できない。	USBメモリーの挿入方向が間違っている。 USBメモリーのコネクタが破損している。	USBメモリーの向きを変えてもう一度挿入してください。 新しいUSBメモリーと交換してください。
USBメモリーが認識されない。	USBメモリーのコネクタの接続が悪い。 USBメモリーが破損している。	USBメモリーを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、新しいUSBメモリーと交換してください。
音が出ない。ファイルリストにファイルが表示されない。	USBメモリーに本機で再生が可能なファイルが保存されていない。	USBメモリーに本機で再生が可能なファイルを正しく書き込んでください。
音とびずる。ノイズが入る。	音楽、動画ファイルのエンコードの仕様が本機的能力を超えている。	本機で再生できるファイル形式で変換してください。 「本機で再生できるファイル拡張子」(10ページ)をご覧ください。
iPod/iPhoneビデオが出ないまたは乱れる	iPod/iPhoneのTV出力がオンになっていない。 正しいケーブルで接続していない。	iPod/iPhoneのTV出力をオンにしてください。またTV信号はNTSCに設定してください。 接続ケーブルCCA-750を使用して接続してください。

■ その他

症状	考えられる原因	対処方法
読み込み中と表示される	ディスクを読み込めない。	そのまま、お待ち下さい。一部のディスクやストレージデバイスでは、数分かかることがあります。
画面が乱れる。	ノイズによる影響。	電氣的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機、マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶/バックライトの故障、ナビゲーション本体の誤動作。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンをかけ直してください。 その後も元に戻らない場合は、液晶/バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談室にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	地図専用microSDカード（地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード）の地図データ読み込みによる影響。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「地図データが読みません（*）」の画面が表示される。	地図専用microSDカード（地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード）が正しく挿入されていない。	本体に装着されている地図専用microSDカード（地図情報の書き込まれた専用のmicroSDカード）が正しく装着されていることを確認してください。

エラー表示について

障害が発生したときは、以下のような表示がされます。対処方法にしたがって障害を取り除いてください。
解決方法が見つからない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

エラー表示	考えられる原因	対処方法
ディスクが読めません	ディスクが汚れていて、再生できない。	「ディスクのお手入れ」をご覧になり、柔らかい布などで、ディスクを拭いてください。
	ディスクを裏返しに入れ、再生できない	ディスクをイジェクトし、ラベル面を上にして、ディスクを入れ直してください。
	ディスクに傷などがあり、再生できない。	傷や、そのないディスクと交換してください。
再生できないファイルです。	ディスクフォーマットが本機で対応していない。	フォーマットが対応されているディスクに変えてください。
	ビデオの圧縮形式や、解像度などの対応していないファイル。	本機で、対応している圧縮形式、解像度、ビットレートのファイルにしてください。
リージョンコードが一致しないため、このDVDは再生できません	DVDディスクが本機のリージョンコードに対応していない。	本機のリージョンコードは、「2」です。 リージョンコードが、「2」、「ALL」または「2を含む」ディスクを入れてください。

上記以外のエラーが表示された場合は、リセットボタンを押してください。それでも問題が解決しない場合は、電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ リセットボタンを押すと、メモリーに記憶されている放送局の周波数やオーディオの設定などが消去されます。

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったら

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号照会申込書」に必要事項を記入して、弊社お客様相談室宛に郵送してください。

「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ(<http://www.clarion.com>)よりダウンロードしてプリントアウトするか、または弊社お客様相談室に請求してください。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。

■著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを、以下に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡(有償および無償)・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しは、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去(初期化)する

本機に保存されたデータをすべて消去(初期化)します。

1. メインメニューから[設定] キーをタッチし、その他  キーをタッチし、[出荷状態に戻す] キーをタッチします
お客様が設定したテレビ関連以外のAudio設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。
2. テレビの設定情報を初期化する手順(20ページ)をご覧ください、初期化を行います。
お客様が設定したテレビ関連の設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。
3. ナビゲーション操作ガイドの「各種設定を初期化する」(85ページ)の手順をご覧ください、「工場出荷物状態に戻す」項目の初期化を行いません。
お客様が設定したナビ関連の設定情報が消去され、工場出荷状態に戻ります。

MEMO

盗難防止パスワードを設定されている場合はデータ初期化できません。「盗難防止パスワードの解除」(40ページ)を行ってください。

保証書とアフターサービス

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い上げの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

■その他

アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

商標について

●  はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

● 本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロイ・コーポレーションの許可が必要です。家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバーエンジニアリングや分解は禁じられています。

● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



● Bluetooth® フードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。その他の商標および商標名は、各権利者に帰属します。



● microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

● Microsoft、WindowsおよびWindows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

● "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance. iPhone, iPod and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.

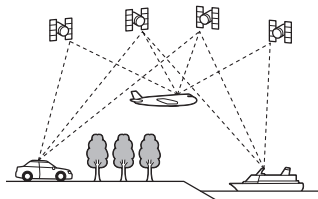
● iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。



ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位

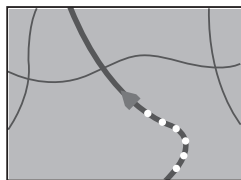
GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。



マップマッチング

GPSによる測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようにとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路に修正する機能がマップマッチングです。

■ マップマッチングしている場合



誤差について

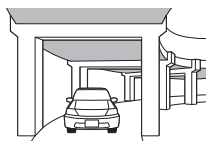
次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

■ GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
※ GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

■ GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

■ その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。
- ヘアピンカーブが続いた場合。
- ループ橋などを通った場合。
- 蛇行運転をした場合。
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を行った場合。
- 立体駐車場などで旋回や切り返したを繰り返した場合。
- 基盤の目状の道路を走った場合。
- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

仕様

■FM チューナー部

受信周波数：76 MHz ～ 90 MHz

実用感度：8 dBμV

■AM チューナー部

受信周波数：522 kHz ～ 1629 kHz

実用感度：30 dBμV

■デジタル TV チューナー部

ISDB-T方式、12セグ/ワンセグチューナー
2入力ダイバーシティ・アンテナ(電圧重畳 DC8V)

受信チャンネル：UHF13 ～ 52 ch

■DVD/CD プレーヤー部

周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz

SN比：80 dBA

高調波歪み率：0.1 %

■モニター部

画面サイズ：7型 ワイドタイプ

画素数：1,152,000

解像度：800 × 480 × 3 (RGB)

表示方式：透過型TN液晶

駆動方式：TFTアクティブマトリクス

■USB 部

規格：USB 1.1/2.0

USB mass storage class

■Bluetooth

規格：Bluetooth Ver 2.0+EDR

プロファイル：

HFP1.5(Hands Free Profile)

HSP1.0(Headset Profile)

A2DP1.2(Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP1.4(AV Remote Control Profile)

PBAP1.0(Phone Book Access Profile)

電波強度クラス：Class2

■AUX 入力

オーディオ入力電圧：≤ 2 Vrms

ビデオ入力電圧：1.0 Vp-p@75Ω

オーディオ入力感度(標準入力)：

High: 325 mVrms

Mid : 650 mVrms

Low : 1.3 Vrms

■カメラ入力

ビデオ入力：1.0Vp-p/75Ω

ビデオ形式：コンポジット・ビデオ/NTSC方式

■オーディオ部

定格出力：26 W × 4

適合インピーダンス：4 Ω

■共通

電源電圧：DC 14.4 V (10.8 V ～ 15.6 V 許容電圧範囲)

接地方式：マイナス接地

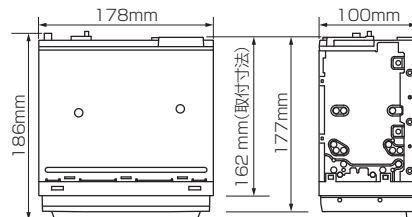
消費電流：約 4 A (1 W時)

Autoアンテナ定格電流：300 mA

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

■本体外形寸法：178(W) x 100 (H) x 186 (D) mm

■本体質量：2.6 kg



クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ
フリーダイヤル  **0120-112-140**

受付時間: 9:30~12:00、13:00~17:00
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)
保証書で以下内容をご確認頂くと、スムーズな対応ができます。

お買い上げ日、販売店名、製品型名

TX-1170A

7-8244-2003-00-01

Printed in China 2015/5